

照査者	設計者

令和8年度（債務負担行為）水道総合地震対策事業温海川配水池耐震補強
工事設計書

工 事 番 号		施 工 年 度	令和8年度
工 事 名 称	令和8年度（債務負担行為）水道総合地震対策事業温海川配水池耐震補強工事		
工 事 場 所	鶴岡市温海川地内		
施 工 主		工事概要 （補助対象） パラペット撤去工事 一式 配水池内部底盤増し厚コンクリート工事 一式 配水池内部底盤内防食塗装工事 一式 配水池外壁増し厚コンクリート工事 一式 （補助対象外） 配水池内部側壁・頂版補修コンクリート工事 一式 配水池内部側壁・頂版内防食塗装工事 一式 配水池側壁防水頂版塗装工事 一式 付帯設備設置工事 一式	
設 計 区 分			
路 線 名			
工 事 期 間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		
工 事 日 数	日		
部 課 名	庄内広域水道企業団 鶴岡事務所		
積 算 担 当			
合 計 額			
工 事 価 格			
消費税相当額			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費	構造物工事(浄水場等)					週休2日 月単位	労務費 1.02	場所区分:山間僻地及び離島
		配水池耐震補強工事		式	1			第 1号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格								
消費税相当額								
合計額								

第 1号		耐震補強工事（1年目）（補助対象）					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	m	25				第 1号単価表	
構造物とりこわし工(人力施工) 昼間	鉄筋構造物 制約無	m ³	1				第 2号単価表	
人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	60m以下	m ³	1					
	換算距離:60m以下							
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、23.2km以下	m ³	1					
	殻発生作業:コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し							
	運搬距離:23.2km以下							
コンクリート塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	m ³	1					
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)	濁水処理費用を別途計上しない	m ²	17				第 3号単価表	
人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	60m以下	m ³	1					
	換算距離:60m以下							
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、23.2km以下	m ³	1					
	殻発生作業:コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し							

第 1号

耐震補強工事（1年目）（補助対象）

1式当たり

明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	運搬距離:23.2km以下					
コンクリート塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	m ³	1			
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、40-12-25、コンクリートポンプ車輻代別途	m ³	3			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:コンクリートポンプ車打設 コンクリート規格:40-12-25 W/C≤55					
	設計日打設量:10m3以上100m3未満 養生工の種類:一般養生 圧送管延長距離区分:60m以下					
コンクリートポンプ車トラック架装配管式 中型車	賃料(最低補償額) ※普通作業員1 名含む	供/日	1			
接着剤塗布工(U-プライマーEP)	主剤 8kg 標準塗布量300g/m ²	m ²	20			
接着剤塗布工(U-プライマーEP)	硬化剤 4kg 標準塗布量150g/m ²	m ²	20			
塗装工	接着剤塗布	m ²	20			第 4号単価表
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m ²	1			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物					
コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	30mm以上200mm未満	孔	59			
	削孔深さ:30mm以上200mm未満					

第 1号		耐震補強工事（1年目）（補助対象）					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	36					
	削孔深さ:30mm以上200mm未満							
ARケミカルセッターMUアンカー	MU-12 13.0×110mm ガラス管	本	59					
ARケミカルセッターMUアンカー	MU-12 13.0×110mm ガラス管	本	36					
アンカー	25mm以下、横方向	本	59					
	適用アンカー材径:25mm以下 削孔方向:横方向							
アンカー	25mm以下、下方向	本	36					
	適用アンカー材径:25mm以下 削孔方向:下方向							
鉄筋工	一般構造物	t	0.15				第 5号単価表	
スリーブ圧着ネジ継手	D13 Hタイプ	組	4					
下地処理	ケレン・清掃	m ²	17					
上水道コンクリート防食工・材工（床部）	JWWA K 143(2017)適合	m ²	17					
手摺先行型枠組足場工	（安全ネットあり）	掛m ²	100				第 6号単価表	

第 2号

配水池改修工事（1年目）（補助対象外）

1式当たり

明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)	濁水処理費用を別途計上しない	m ²	61			第 3号単価表
人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	60m以下	m ³	2			
	換算距離:60m以下					
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、23.2km以下	m ³	2			
	殻発生作業:コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
	運搬距離:23.2km以下					
コンクリート塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	m ³	2			
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、40-12-25、コンクリートポンプ車輻代別途	m ³	3			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:コンクリートポンプ車打設 コンクリート規格:40-12-25 W/C≦55					
	設計日打設量:10m3以上100m3未満 養生工の種類:一般養生 圧送管延長距離区分:60m以下					
コンクリートポンプ車トラック架装配管式中型車	賃料(最低補償額) ※普通作業員1名含む	供/日	1			
接着剤塗布工(U-プライマーEP)	主剤 8kg 標準塗布量300g/m ²	m ²	63			
接着剤塗布工(U-プライマーEP)	硬化剤 4kg 標準塗布量150g/m ²	m ²	63			

第 2号		配水池改修工事（1年目）（補助対象外）					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
塗装工	接着剤塗布	m ²	63				第 4号単価表	
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m ²	63					
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物							
下地処理	ケレン・清掃	m ²	63					
上水道コンクリート防食工・材工 (側壁)	JWWA K 143(2017)適合	m ²	53					
上水道コンクリート防食工・材工 (頂版下面)	JWWA K 143(2017)適合	m ²	10					
ノーブレンロフティーステップ	後付け用 MN325DC-RF(芯材SUS304)	個	12					
ノーブレンステップ用接着剤	プレロック ステップ10本分	組	1.2					
足掛金物据付	壁上がり部削孔	箇所	12				第 9号単価表	
手摺先行型枠組足場工	(安全ネットあり)	掛m ²	15				第 6号単価表	
パイプサポート支保工	支保耐力 $\leq 40\text{kN/m}^2$ C o厚 $\leq 120\text{cm}$	空m ³	45				第 10号単価表	
ソフトシール仕切弁 $\phi 150 \times 7.5\text{k}$	水没対応型 FCD450-10 ゴムライニング エポキシ樹脂粉体塗装	台	1					
ソフトシール仕切弁 $\phi 150 \times 7.5\text{k}$	振れ止め SUS製	台	1					

第 3号		耐震補強工事（2年目）（補助対象）					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)	濁水処理費用を別途計上しない	m ²	17				第 3号単価表	
コンクリートはつり	3cm以下 平均はつり厚:3cm以下	m ²	99					
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)	濁水処理費用を別途計上しない	m ²	99				第 3号単価表	
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)	濁水処理費用を別途計上しない	m ²	36				第 3号単価表	
人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	60m以下 換算距離:60m以下	m ³	9					
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、23.2km以下 殻発生作業:コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し 運搬距離:23.2km以下	m ³	9					
コンクリート塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	m ³	9					
構造物とりこわし工(人力施工) 昼間	鉄筋構造物 制約無	m ³	7				第 2号単価表	
人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	60m以下	m ³	7					

第 3号

耐震補強工事（2年目）（補助対象）

1式当たり

明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	換算距離:60m以下					
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、23.2km以下	m ³	7			
	殻発生作業:コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
	運搬距離:23.2km以下					
コンクリート塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	m ³	7			
掘削	土砂、現場制約あり	m ³	72			
	土質:土砂 施工方法:現場制約あり					
人力運搬(積込み～運搬～取卸し)	60m以下	m ³	72			
	換算距離:60m以下					
土砂等運搬	小規模、バックホウ山積0.28m ³ (平積0.2m ³)、土砂(岩塊・玉	m ³	72			
	土砂等発生現場:小規模 積込機種・規格:バックホウ山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:無し 運搬距離:35.0km以下					
建設発生土受入料金(改良不要土)	コン指数 $\geq 800\text{kN/m}^2$, (一社)庄内田川建設発生土リサイクル協会	m ³	72			

第 3号

耐震補強工事（2年目）（補助対象）

1式当たり

明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し	現場制約あり、土砂、有り	m ³	70			
	施工方法:現場制約あり 土質:土砂 締固めの有無:有り					
丘砂(砂丘砂)		m ³	88			
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打設、18-8-40	m ³	6			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:コンクリートポンプ車打設 コンクリート規格:18-8-40 W/C≤60 普通					
	設計日打設量:10m3以上100m3未満 養生工の種類:一般養生 圧送管延長距離区分:60m以下					
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m ²	4			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物					
溶接金網 丸鉄線	6×100×100mm	m ²	64			
目地板	30m2未満	m ²	4			
	1工事当り使用量:30m2未満					
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、40-12-25、コンクリートポンプ車代別途	m ³	3			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:コンクリートポンプ車打設 コンクリート規格:40-12-25 W/C≤55					

第 3号

耐震補強工事（2年目）（補助対象）

1式当たり

明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	設計日打設量:10m3以上100m3未満 養生工の種類:一般養生 圧送管延長距離区分:60m以下					
コンクリートポンプ車トラック架装配管式 中型車	賃料（最低補償額） ※普通作業員1 名含む	供/日	1			
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、コンクリートポンプ車打 設、40-12-25	m ³	30			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:コンクリートポンプ車打設 コンクリート規格:40-12-25 W/C≦55					
	設計日打設量:10m3以上100m3未満 養生工の種類:一般養生 圧送管延長距離区分:60m以下					
接着剤塗布工（U-プライマーEP）	主剤 8kg 標準塗布量300g/m ²	m ²	164			
接着剤塗布工（U-プライマーEP）	硬化剤 4kg 標準塗布量150g/m ²	m ²	164			
塗装工	接着剤塗布	m ²	164			第 4号単価表
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m ²	106			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物					
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	95			
	削孔深さ:30mm以上200mm未満					
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	240			

第 3号

耐震補強工事（2年目）（補助対象）

1式当たり

明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	削孔深さ:30mm以上200mm未満					
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	125			
	削孔深さ:30mm以上200mm未満					
ARケミカルセッターMUアンカー	MU-16 16.5×120mm ガラス管	本	95			
ARケミカルセッターMUアンカー	MU-16 16.5×120mm ガラス管	本	240			
ARケミカルセッターMUアンカー	MU-16 16.5×120mm ガラス管	本	125			
アンカー	25mm以下、下方向	本	95			
	適用アンカー材径:25mm以下 削孔方向:下方向					
アンカー	25mm以下、横方向	本	240			
	適用アンカー材径:25mm以下 削孔方向:横方向					
アンカー	25mm以下、下方向	本	125			
	適用アンカー材径:25mm以下 削孔方向:下方向					
鉄筋工	一般構造物	t	1.7			

第 5号単価表

庄内広域水道企業団

第 3号

耐震補強工事（2年目）（補助対象）

1式当たり

明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
スリーブ圧着ネジ継手	D13 Hタイプ	組	4			
下地処理	ケレン・清掃	m ²	17			
上水道コンクリート防食工・材工 （床部）	JWWA K 143(2017)適合	m ²	17			
手摺先行型枠組足場工	（安全ネットあり）	掛m ²	75			第 6号単価表
大型土のう撤去	ラフレレンクレン撤去	袋	6			第 11号単価表
土のう工	撤去	袋	291			第 12号単価表
土砂等運搬	小規模、バックホウ山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）、土砂（岩塊・玉	m ³	12			
	土砂等発生現場：小規模 積込機種・規格：バックホウ山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ） 土質：土砂（岩塊・玉石混り土含む）					
	DID区間の有無：無し 運搬距離：35.0km以下					
建設発生土受入料金（改良不要土）	コン指数 \geq 800kN/m ² ,（一社）庄内田川 建設発生土リサイクル協会	m ³	12			
計						

第 4号

配水池改修工事（2年目）（補助対象外）

1式当たり

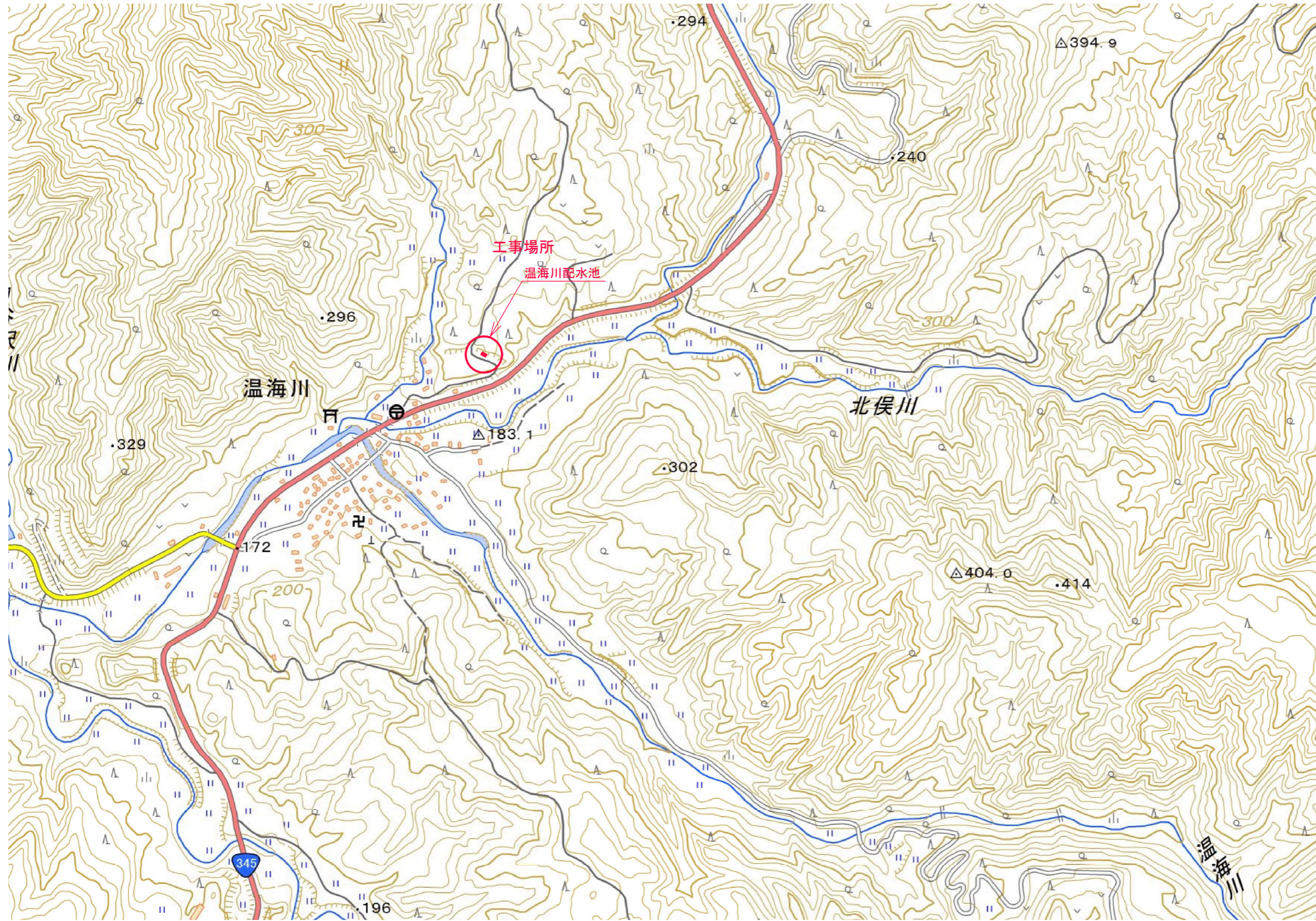
明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)	濁水処理費用を別途計上しない	m ²	61			第 3号単価表
人力運搬（積込み～運搬～取卸し）	60m以下	m ³	2			
	換算距離:60m以下					
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし、機械積込、無し、23.2km以下	m ³	2			
	殻発生作業:コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:無し					
	運搬距離:23.2km以下					
コンクリート塊処分費	鉄筋(田川砂利工業)	m ³	2			
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、40-12-25、コンクリートポンプ車輻代別途	m ³	3			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:コンクリートポンプ車打設 コンクリート規格:40-12-25 W/C≦55					
	設計日打設量:10m3以上100m3未満 養生工の種類:一般養生 圧送管延長距離区分:60m以下					
コンクリートポンプ車トラック架装配管式中型車	賃料(最低補償額) ※普通作業員1名含む	供/日	1			
接着剤塗布工(U-プライマーEP)	主剤 8kg 標準塗布量300g/m ²	m ²	63			
接着剤塗布工(U-プライマーEP)	硬化剤 4kg 標準塗布量150g/m ²	m ²	63			

第 4号		配水池改修工事（2年目）（補助対象外）					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
塗装工	接着剤塗布	m ²	63			第 4号単価表		
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m ²	63					
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物							
下地処理	ケレン・清掃	m ²	60					
上水道コンクリート防食工・材工 (側壁)	JWWA K 143(2017)適合	m ²	50					
上水道コンクリート防食工・材工 (頂版下面)	JWWA K 143(2017)適合	m ²	10					
ノーブレンロフティーステップ	後付け用 MN325DC-RF(芯材SUS304)	個	12					
ノーブレンステップ用接着剤	プレロック ステップ10本分	組	1.2					
足掛金物据付	壁上がり部削孔	個	12			第 13号単価表		
ステンレスはしご(ガード付塔屋 タラップ・ステンレス 縦横現地)	KS-RTRG347S 3350H(2分割)、ガードH2880(現着)	台	1					
ステンレスはしご(後付け金具)	SK-3051S-AF	組	3					
水位計移設再設置(通気塔取り外し・再設置)	Co基礎調整 再設置通気塔、アンカー打設等含む	式	1					
水位計移設再設置(水位計取り外し・再設置)	収納盤撤去再設置 仮設蓋、仮設PB0X設置等含む	式	1					

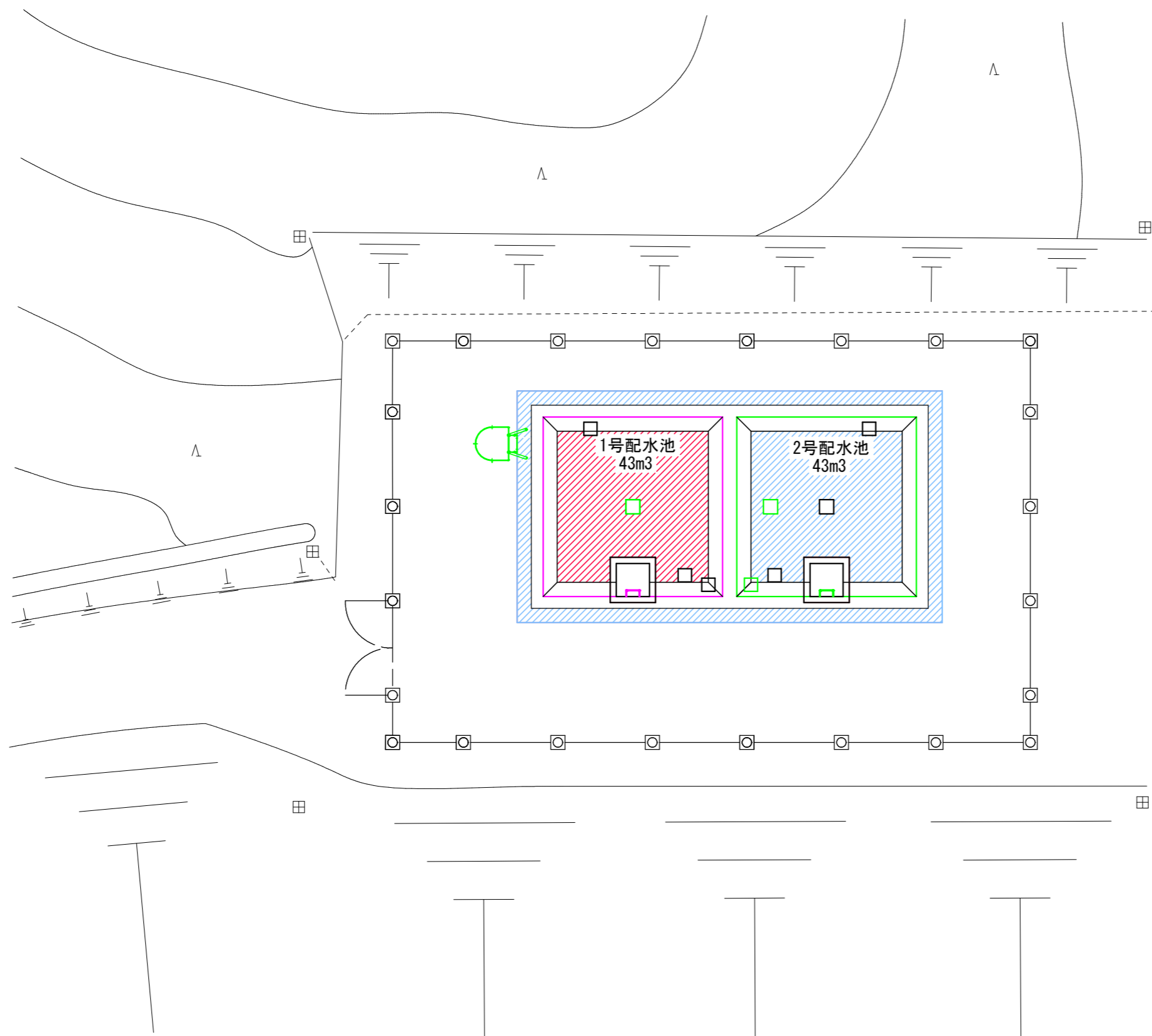
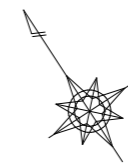
第 4号		配水池改修工事（2年目）（補助対象外）					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
水位計移設再設置（仮設防波管取付）	25A L=3400mm アンカー・ボルト有、支持金具無	式	1					
水位計移設再設置（水位計移設補完材料）	電線管・ケーブル等	式	1					
仕切弁撤去（人力、縦・横型）	呼び径 150mm	基	1				第 14号単価表	
仕切弁設置（人力、縦・横型）	呼び径 150mm	基	1				第 15号単価表	
フランジ継手（JWWA 7.5K）	呼び径 150、ボルト数 6本	口	2				第 16号単価表	
手摺先行型枠組足場工	（安全ネットあり）	掛m ²	15				第 6号単価表	
パイポット支保工	支保耐力 ≤ 40kN/m ² C o 厚 ≤ 120cm	空m ³	45				第 10号単価表	
手摺先行型枠組足場工	（安全ネットあり）	掛m ²	75				第 6号単価表	
下地処理	ケレン・清掃	m ²	94					
外壁防水工法	水性反応硬化型アクリル樹脂 DW-A 工法	m ²	94					
下地処理	ケレン・清掃	m ²	36					
頂版防水工法	A-3工法 歩行用保護仕上げ	m ³	36					
計								

位置図 S=1:5,000



令和8年度	図番	10葉1
工事名	令和8年度(債務負担行為) 水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	位置図	
縮尺	図示	庄内広域水道企業団

配水池平面図 S=1:50



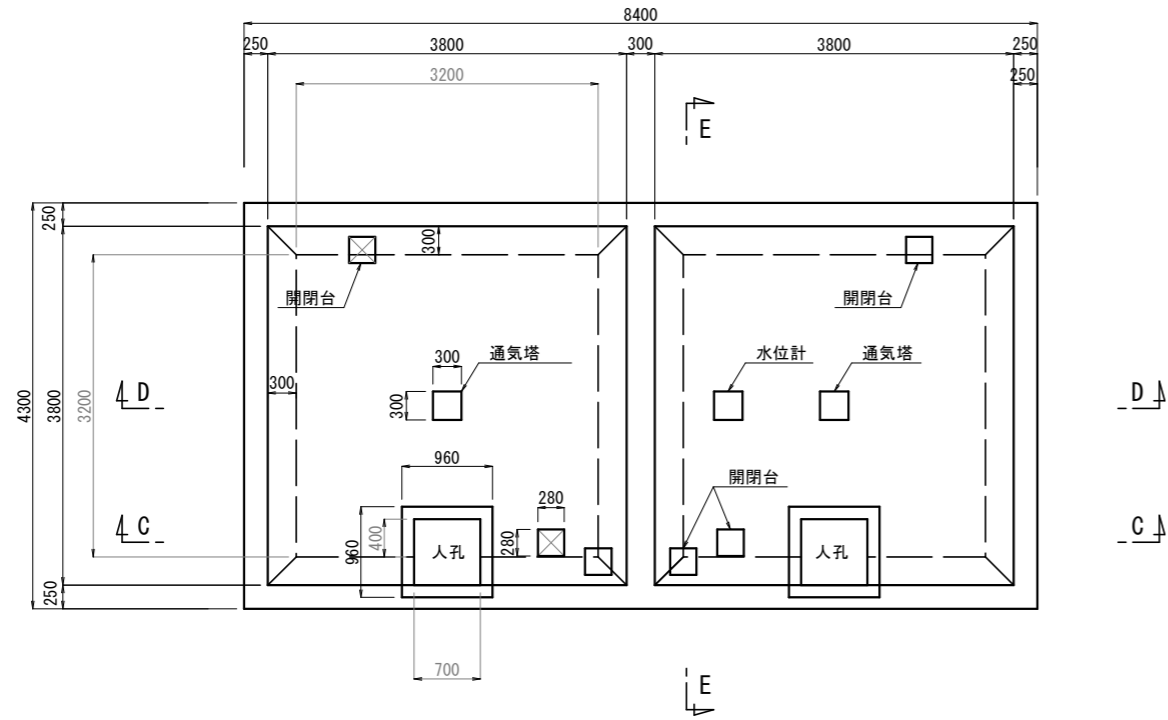
耐震補強工事内容

- パラペット撤去工
- 1号配水池内部底盤増し厚コンクリート工
- 1号配水池内部底盤内防食塗装工
- 1号配水池内部側壁・頂版補修コンクリート工
- 1号配水池内部側壁・頂版内防食塗装工
- 2号配水池内部底盤増し厚コンクリート工
- 2号配水池内部底盤内防食塗装工
- 2号配水池内部側壁・頂版補修コンクリート工
- 2号配水池内部側壁・頂版内防食塗装工
- 配水池外壁増し厚コンクリート工
- 配水池側壁防水頂版塗装工
- 付帯設備設置工
- 水位計移設・再設置

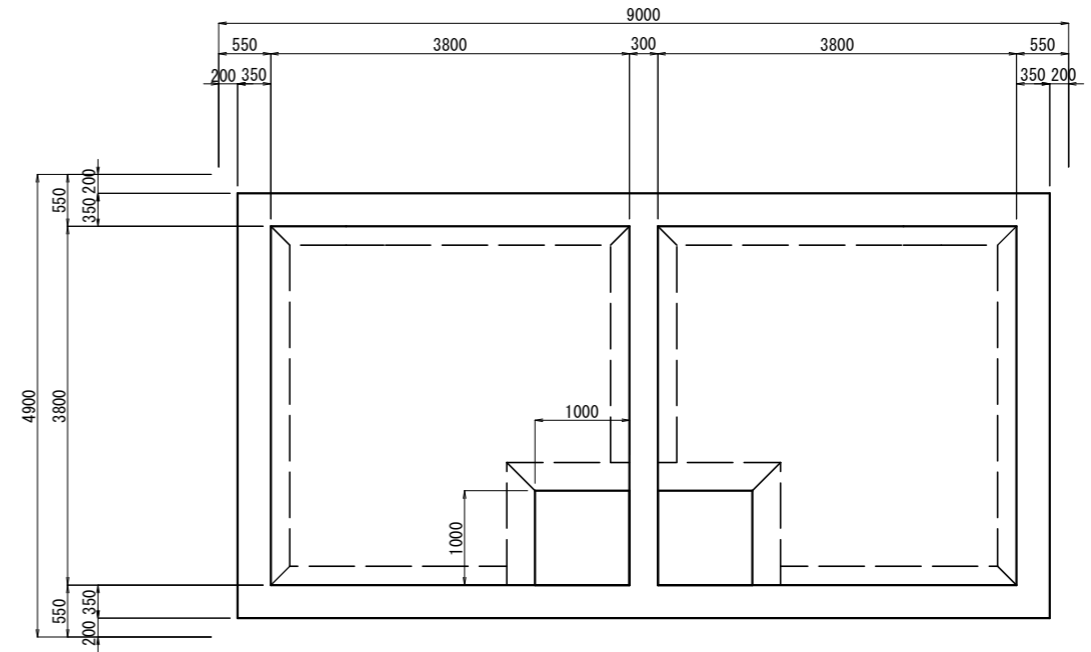
凡	例
	1年目(補助)
	2年目(補助)
	1年目(単費)
	2年目(単費)

令和8年度	図番	10葉2
工事名	令和8年度(債務負担行為) 水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	配水池平面図	
縮尺	1:50	庄内広域水道企業団

A - A 断面図

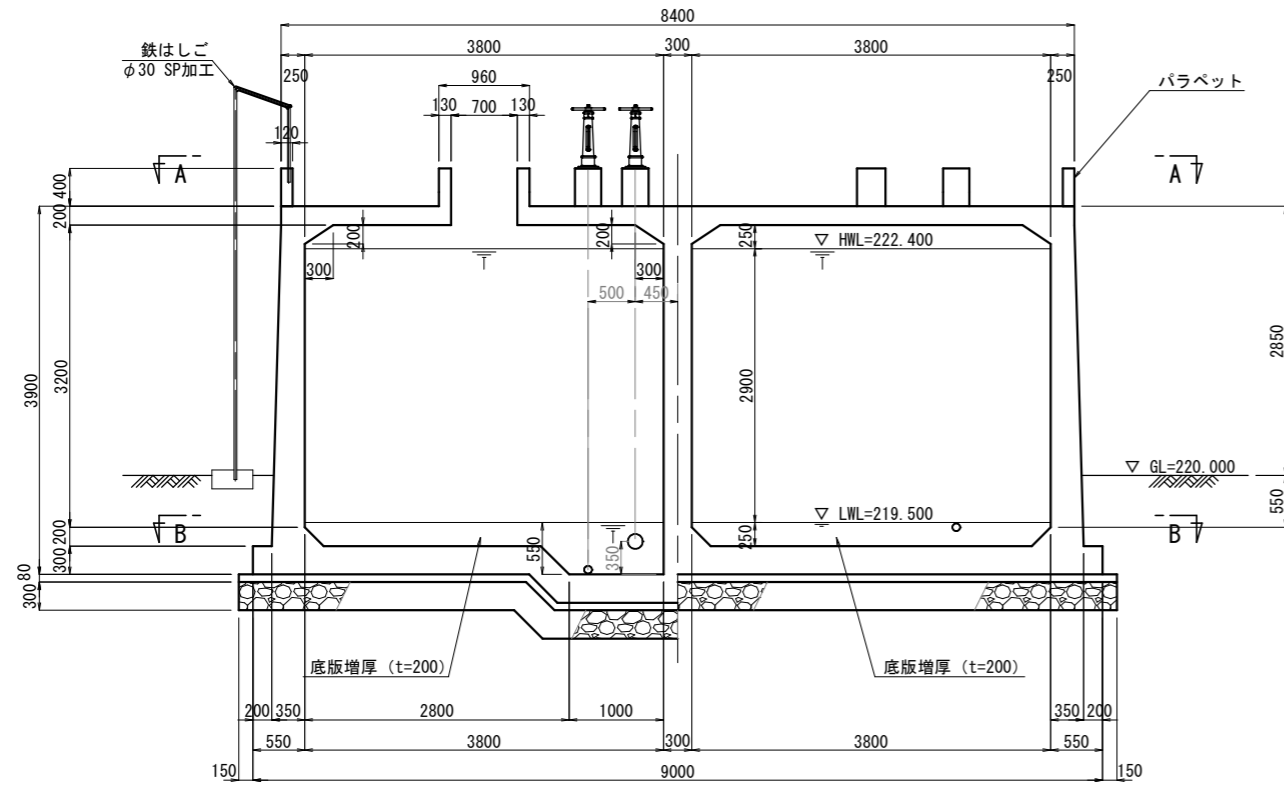


B - B 断面図

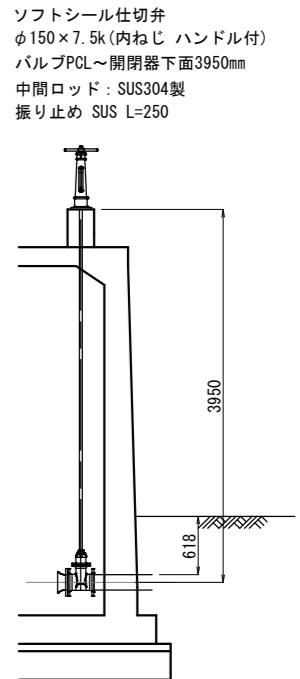
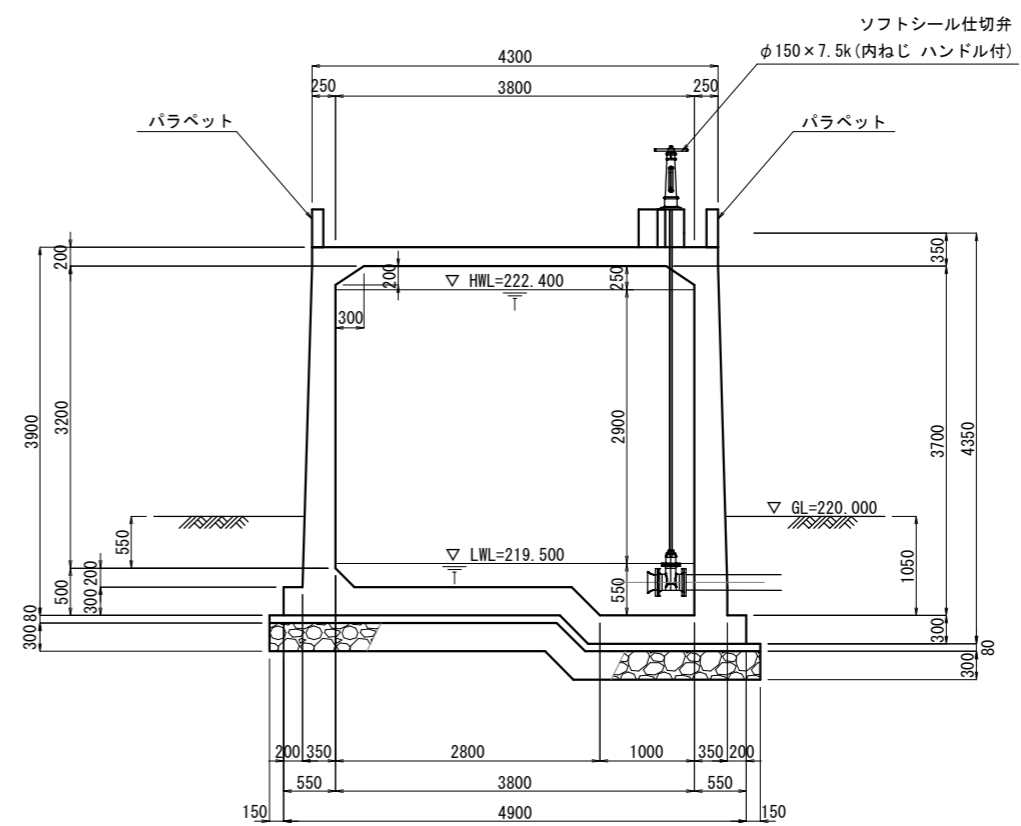


C - C 断面図

D - D 断面図



E - E 断面図

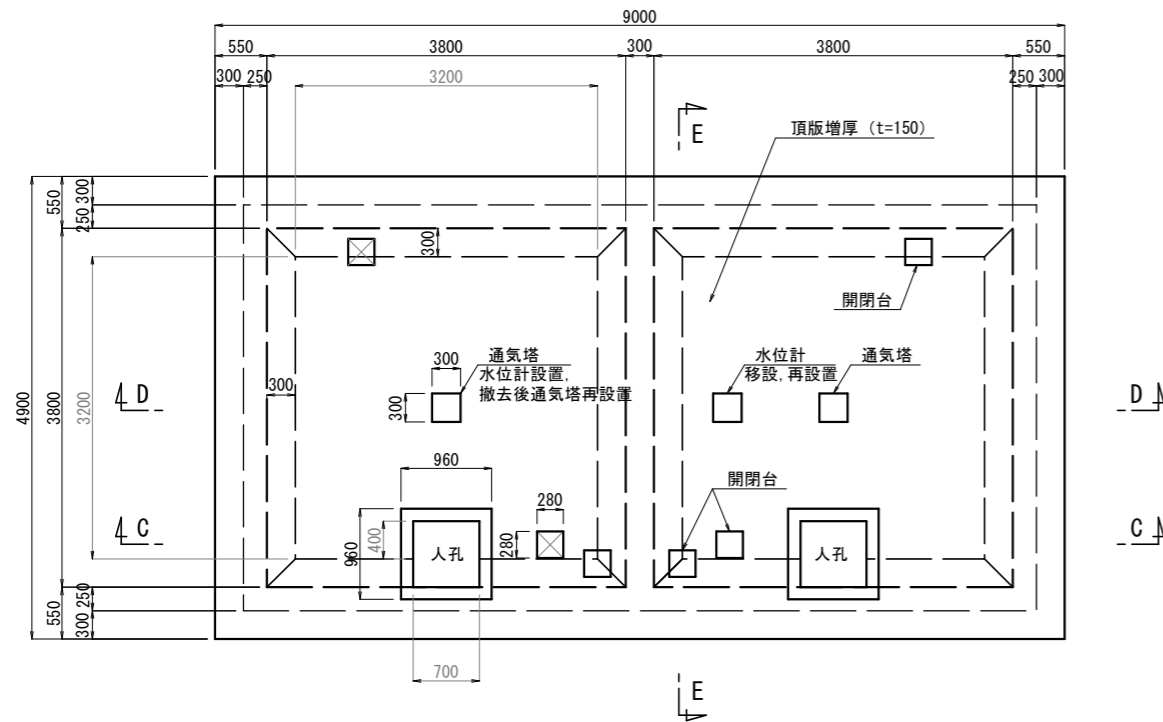


令和8年度	図番	10葉3
工事名	令和8年度(債務負担行為) 水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	温海川配水池既設構造図	
縮尺	1:40	庄内広域水道企業団

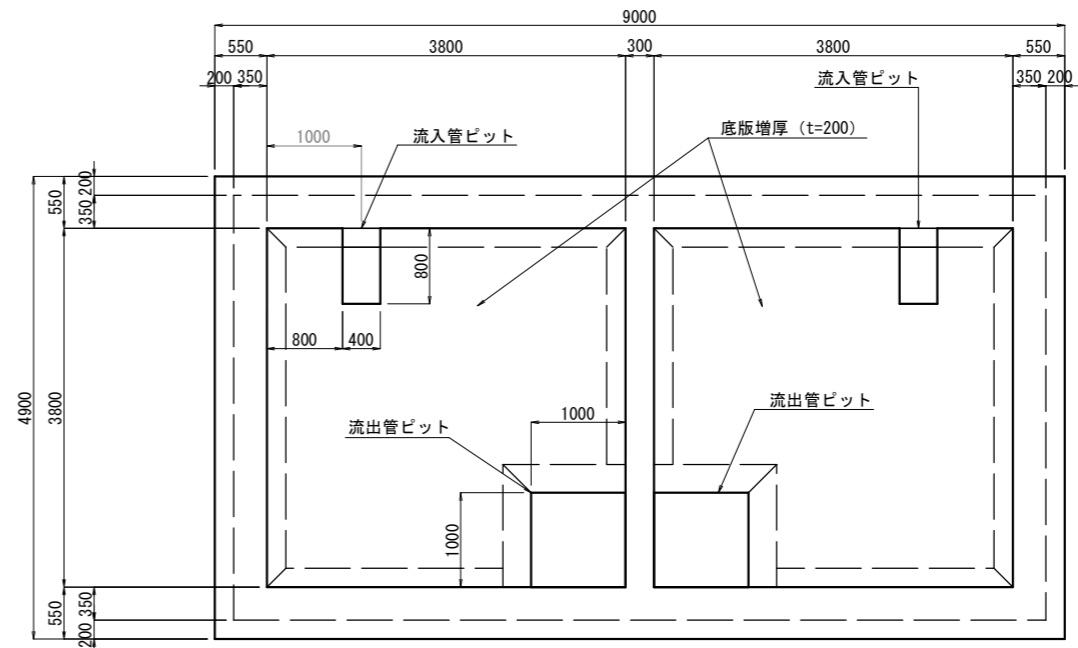
* 施工時における頂版の最大積載荷重は 0.98 kN/m² とする。

配水池補強工図(1) S=1:40

A - A 断面図

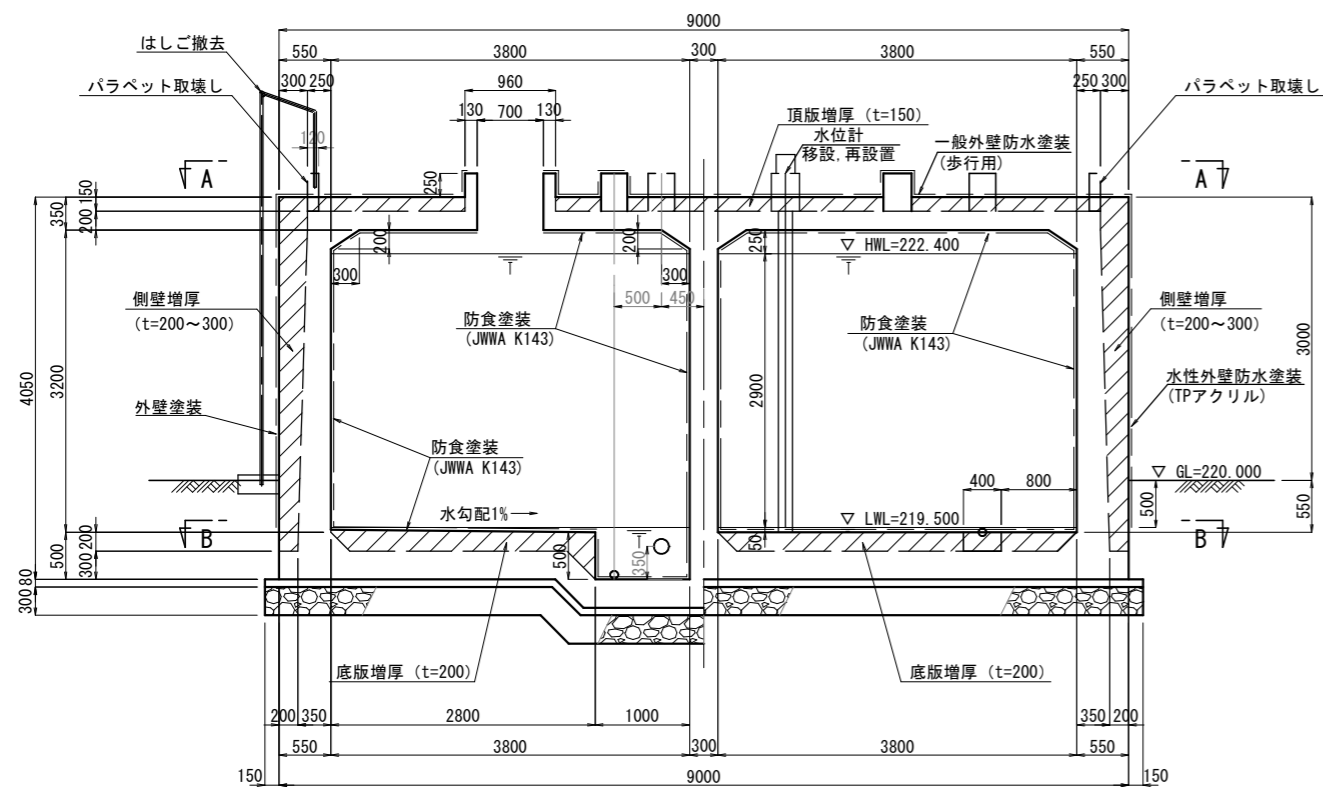


B - B 断面図

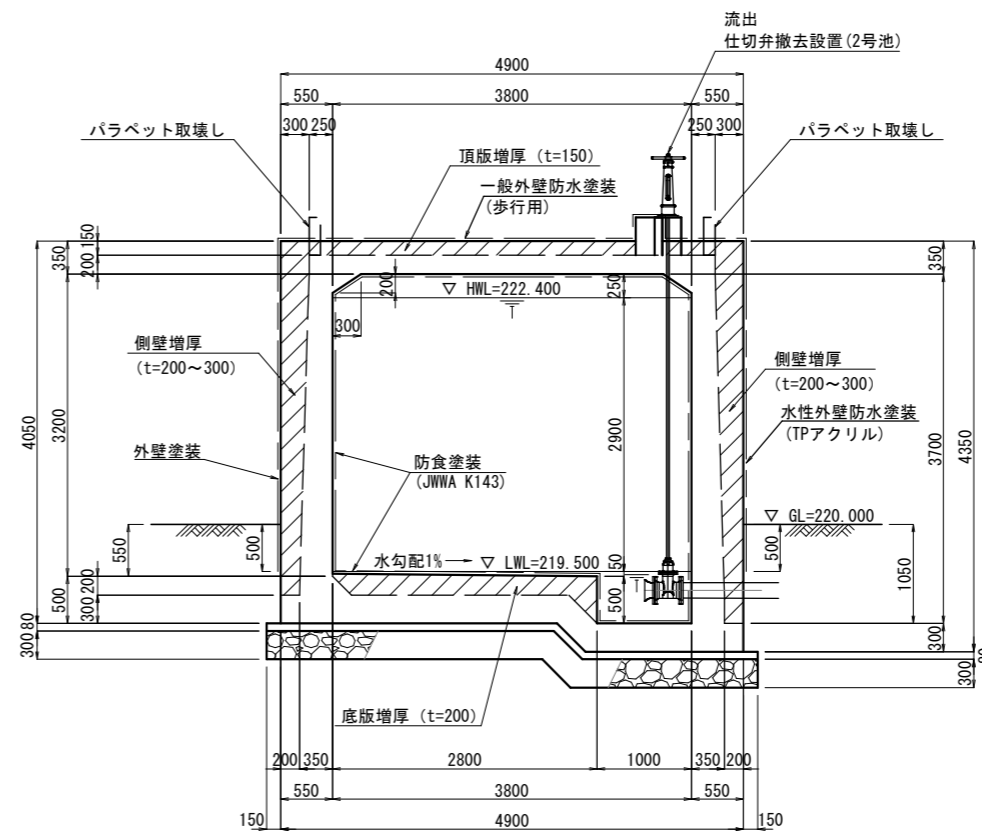


C - C 断面図

D - D 断面図



E - E 断面図



防食塗装仕様(JWWA K143適合)

工程	塗料名	施工方法
① 素地調整	水性エポキシ樹脂モルタル	金コテ等
② 下塗り	無溶剤型エポキシ樹脂	金コテ等
③ 上塗り(1回目)	無溶剤型エポキシ樹脂	ローラー等
④ 上塗り(2回目)	無溶剤型エポキシ樹脂	ローラー等

外壁防水塗装仕様

工程	塗料名	施工方法
① プライマー	特殊水性アクリル樹脂	ローラー等
② 防水層(1回目)	特殊変性エチレン酢酸ビニル樹脂	ローラー等
③ 防水層(2回目)	特殊変性エチレン酢酸ビニル樹脂	ローラー等
④ 上塗り(1回目)	水性反応硬化型アクリル樹脂	ローラー等
⑤ 上塗り(2回目)	水性反応硬化型アクリル樹脂	ローラー等

頂版防水塗装仕様(歩行用保護仕上げ)

工程	塗料名	施工方法
① プライマー	変性エチレン酢酸ビニル共重合樹脂	ローラー等
② 防水層	特殊変性エチレン酢酸ビニル樹脂	金コテ等
③ 上塗り(1回目)	アクリル樹脂エマルジョン	ローラー等
④ 上塗り(2回目)	アクリル樹脂エマルジョン	ローラー等

補強使用材料

コンクリート	f'ck=40 N/mm ²
鉄筋	SD 345

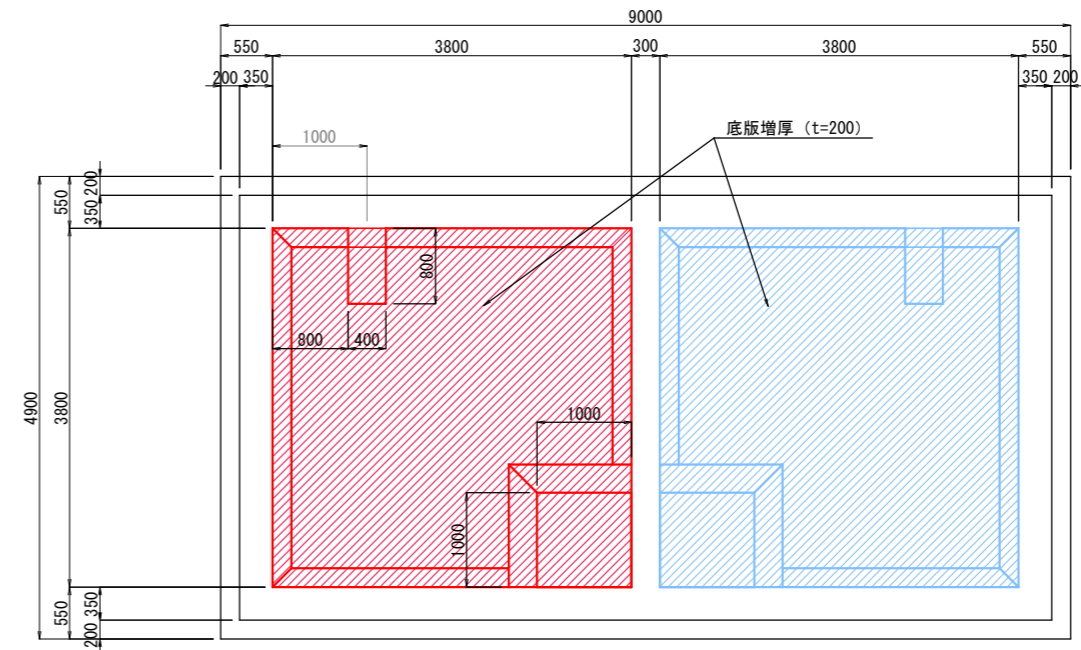
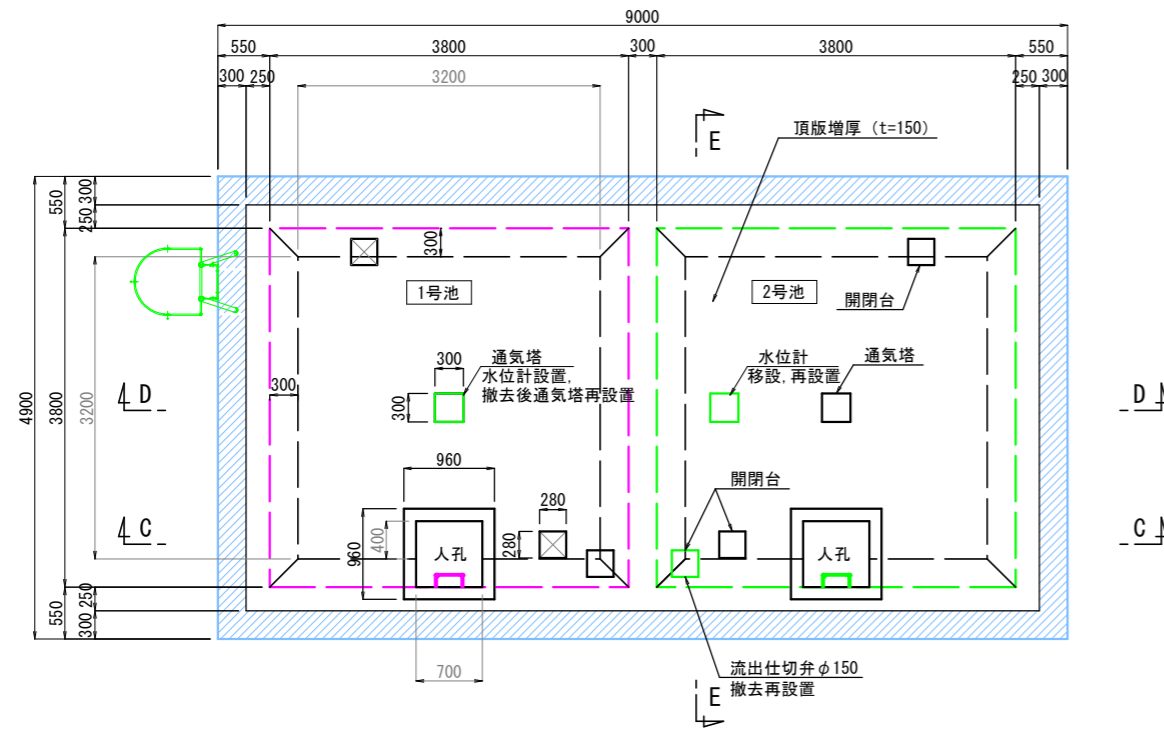
令和8年度	図番	10葉4
工事名	令和8年度(債務負担行為)水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	配水池補強工図(1)	
縮尺	1:40	庄内広域水道企業団

* 施工時における頂版の最大積載荷重は 0.98 kN/m² とする。

配水池補強工図(2) S=1:40

A - A 断面図

B - B 断面図

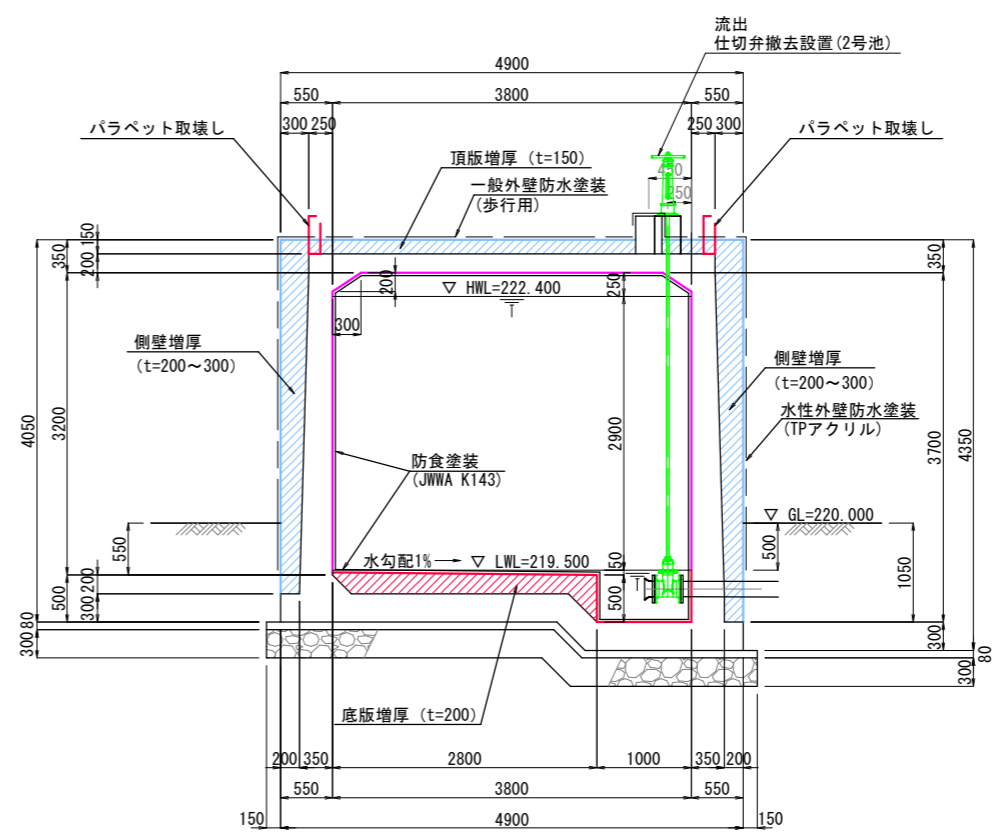
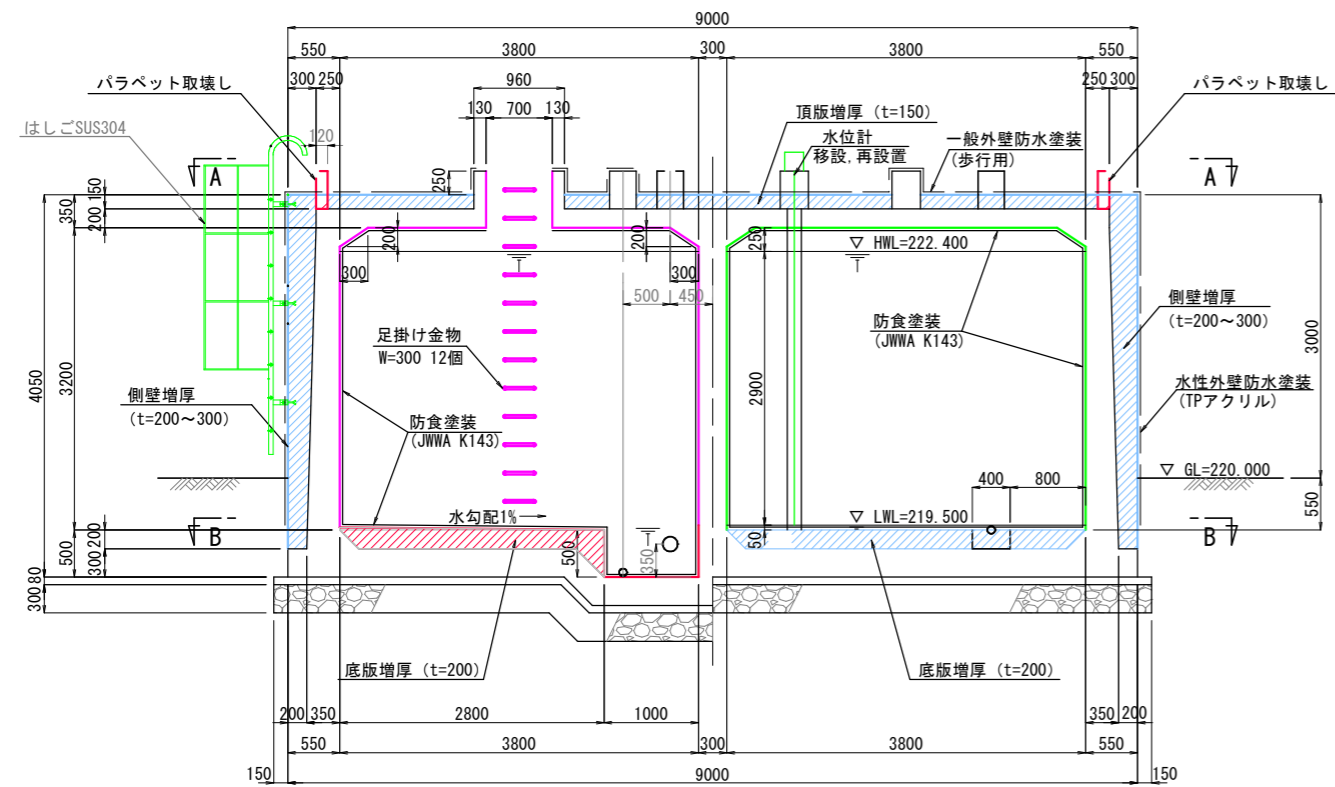


- 水位計移設再設置工程
- | 工程 |
|---|
| ① 1号池の通気塔取り外し (Co基礎調整、アンカー打設等) |
| ② 1号池の通気塔跡に仮設防波管取付け (25A L=3400mm) |
| ③ 水位計検出器移設、検出器設置フランジで仮設防波管をフランジ接続で固定 |
| ④ 2号池の水位計移設後は開口部に蓋を設置、電線管等はPBOXを設置し移設先に延伸 |
| ⑤ 水位計収納盤移設、既設ケーブルと接続 |
| ⑥ 2号池工事終了後に1号池の水位計を2号池に戻す |
| ⑦ 1号池の通気塔を設置 |
| ⑧ 水位計試運転調整を行う |

C - C 断面図

D - D 断面図

E - E 断面図



凡	例
	1年目(補助)
	2年目(補助)
	1年目(単費)
	2年目(単費)

補強使用材料

コンクリート	f'ck=40 N/mm ²
鉄筋	SD 345

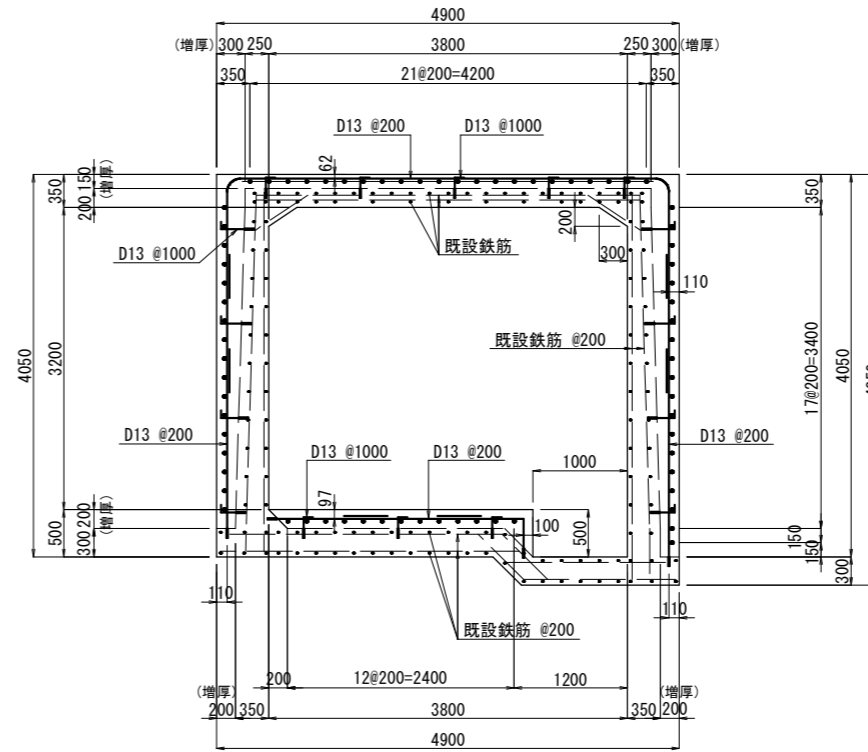
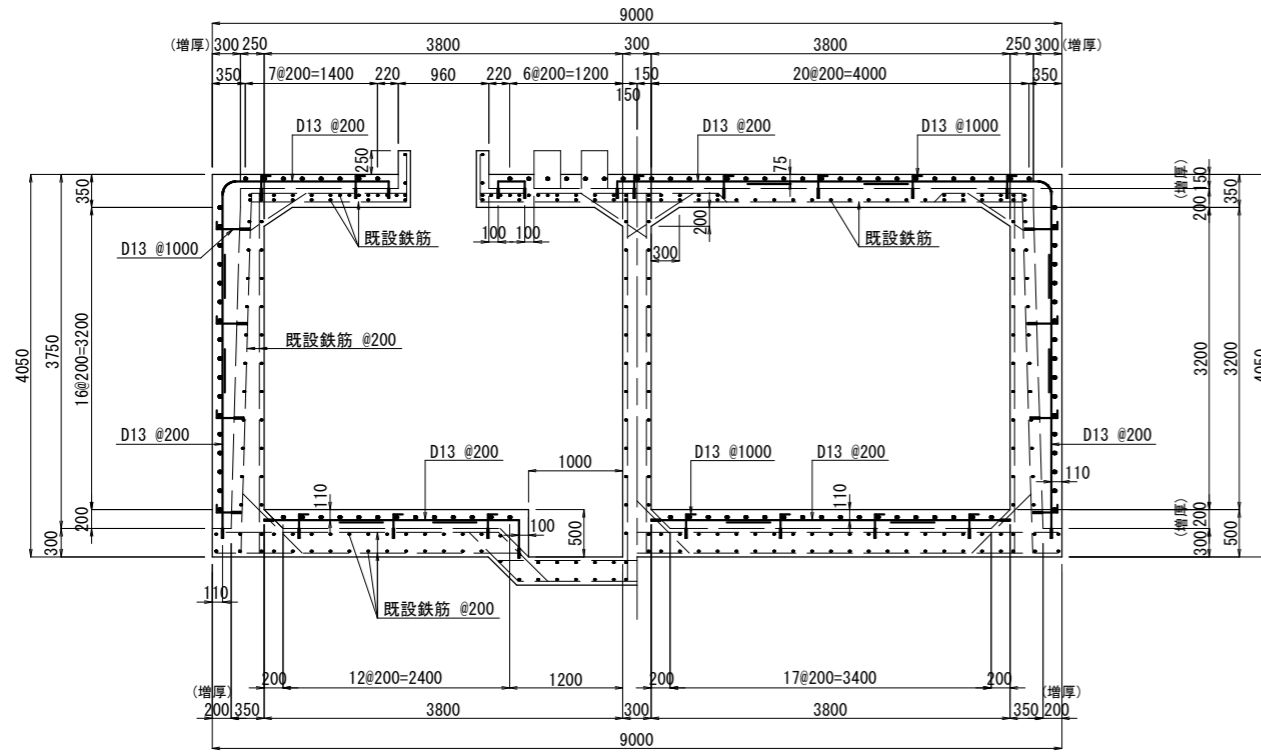
令和8年度	図番	10葉5
工事名	令和8年度(債務負担行為)水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	配水池補強工図(2)	
縮尺	1:40	庄内広域水道企業団

* 施工時における頂版の最大積載荷重は 0.98 kN/m² とする。

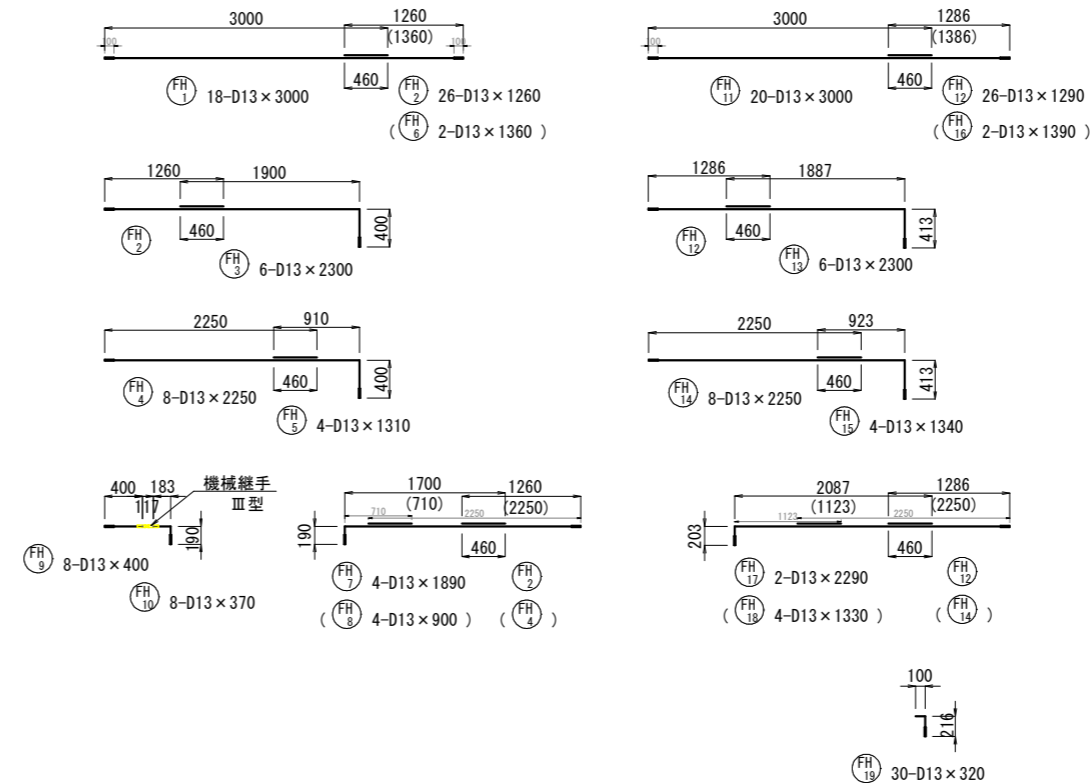
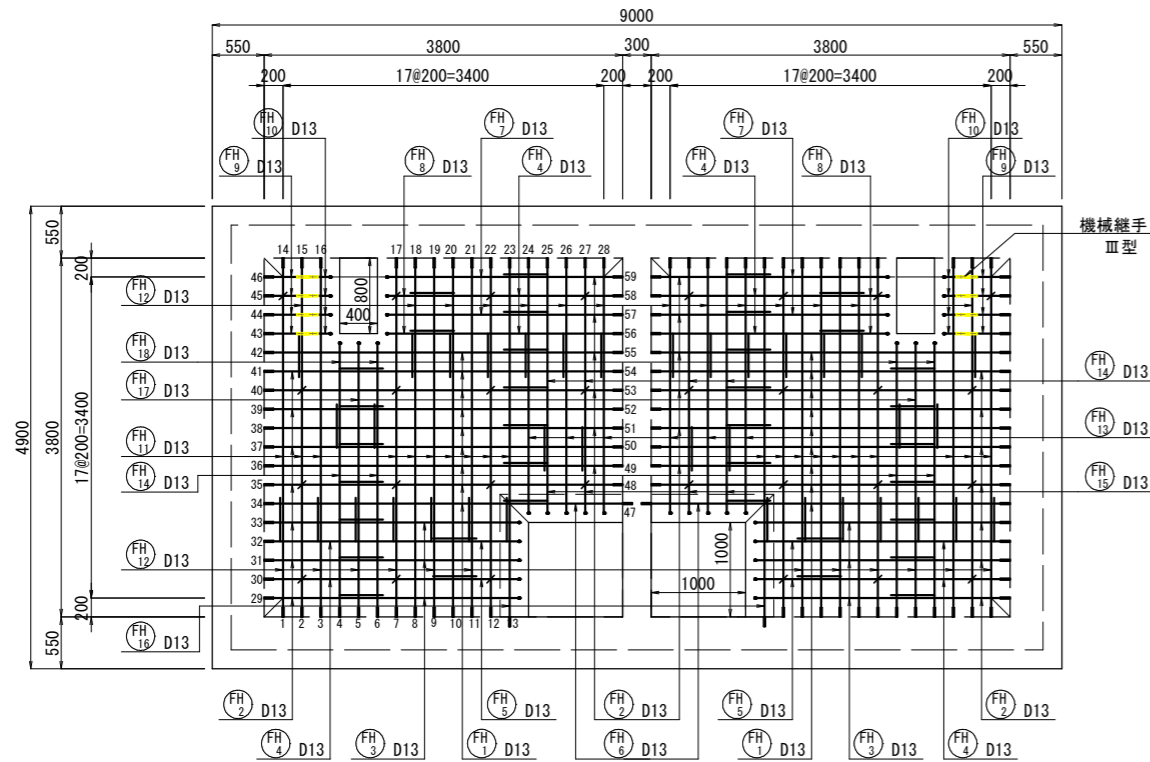
A - A 断面図

B - B 断面図

C - C 断面図

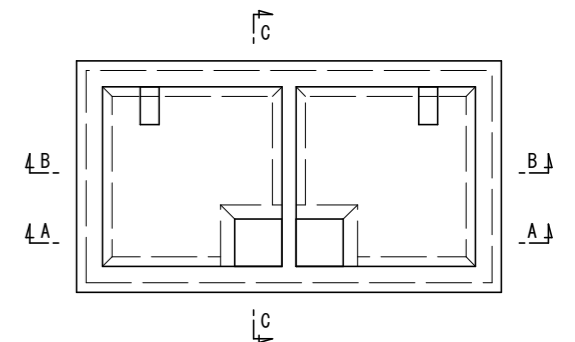


底板補強展開図



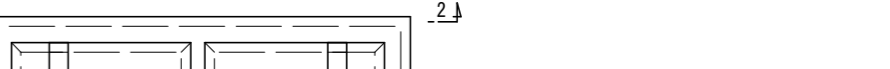
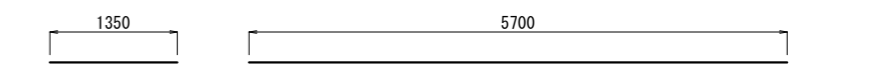
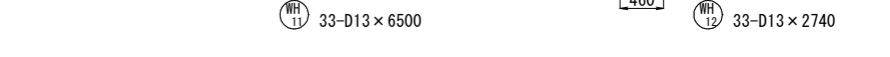
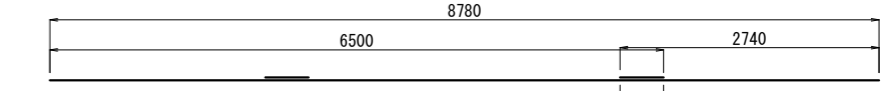
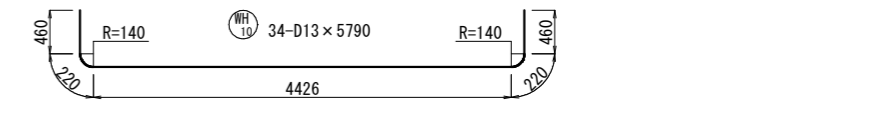
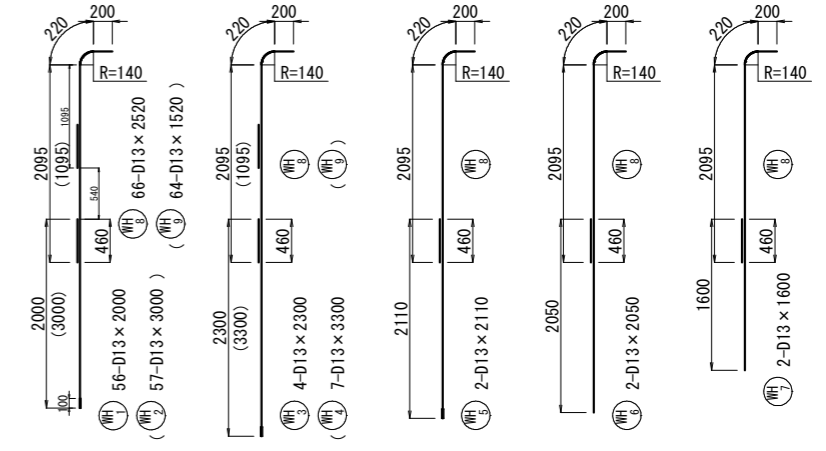
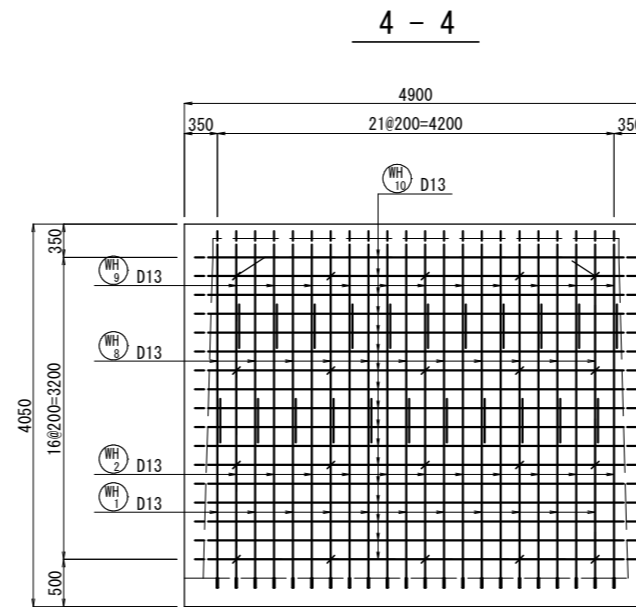
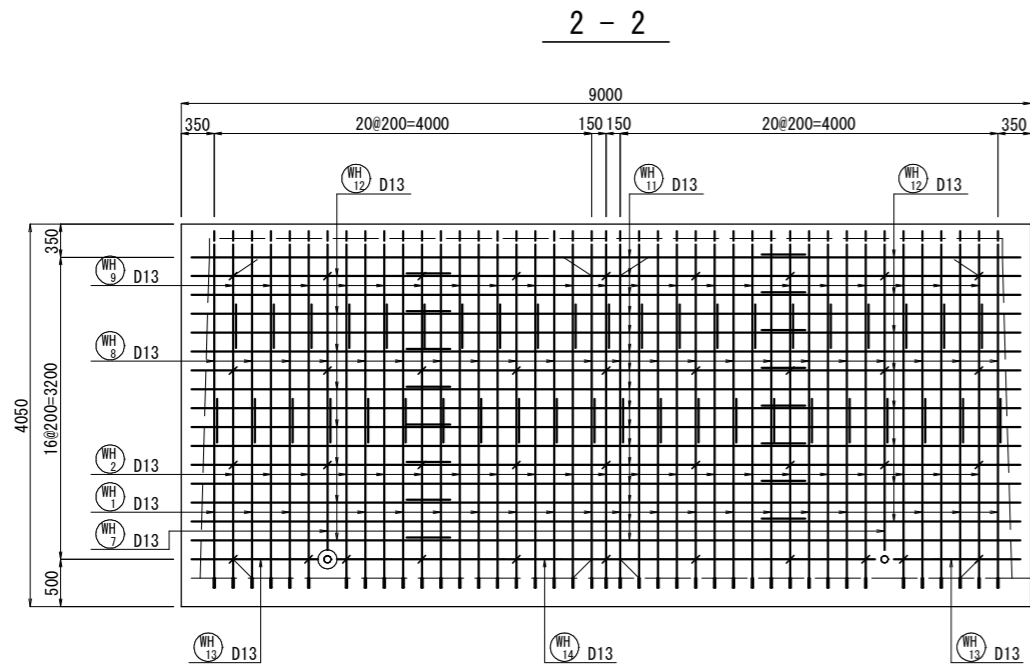
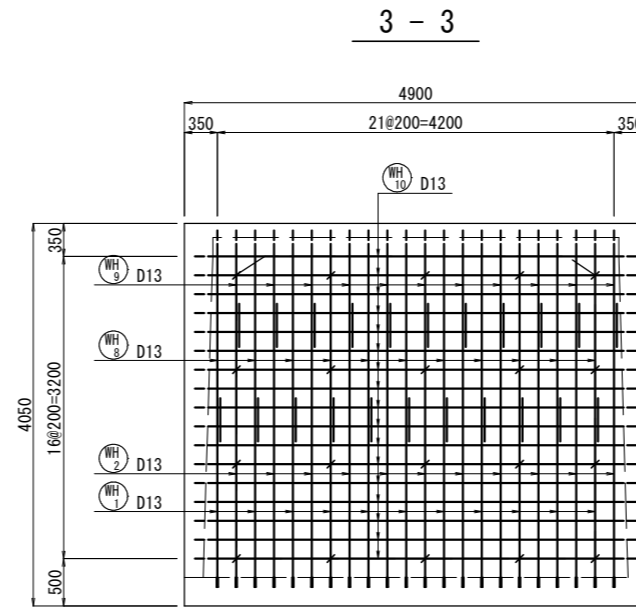
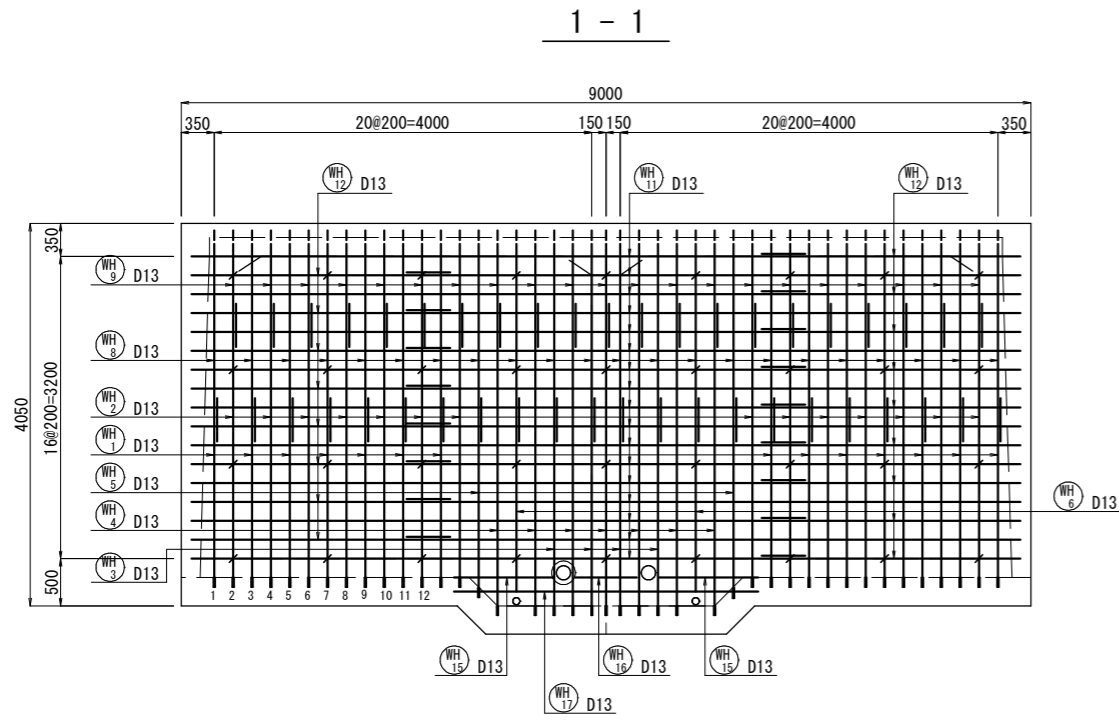
- 注1) コンクリートの設計基準強度
f'ck = 40.0 N/mm²
- 注2) 鉄筋規格 SD 345
- 注3) アンカー穿孔仕様例を下記に示す。
注入接着剤タイプ
D13 → 穿孔径 φ16, 穿孔長 100mm
- 注4) 鉄筋先端は 寸切り 又は 両面カットとする。

KEY PLAN



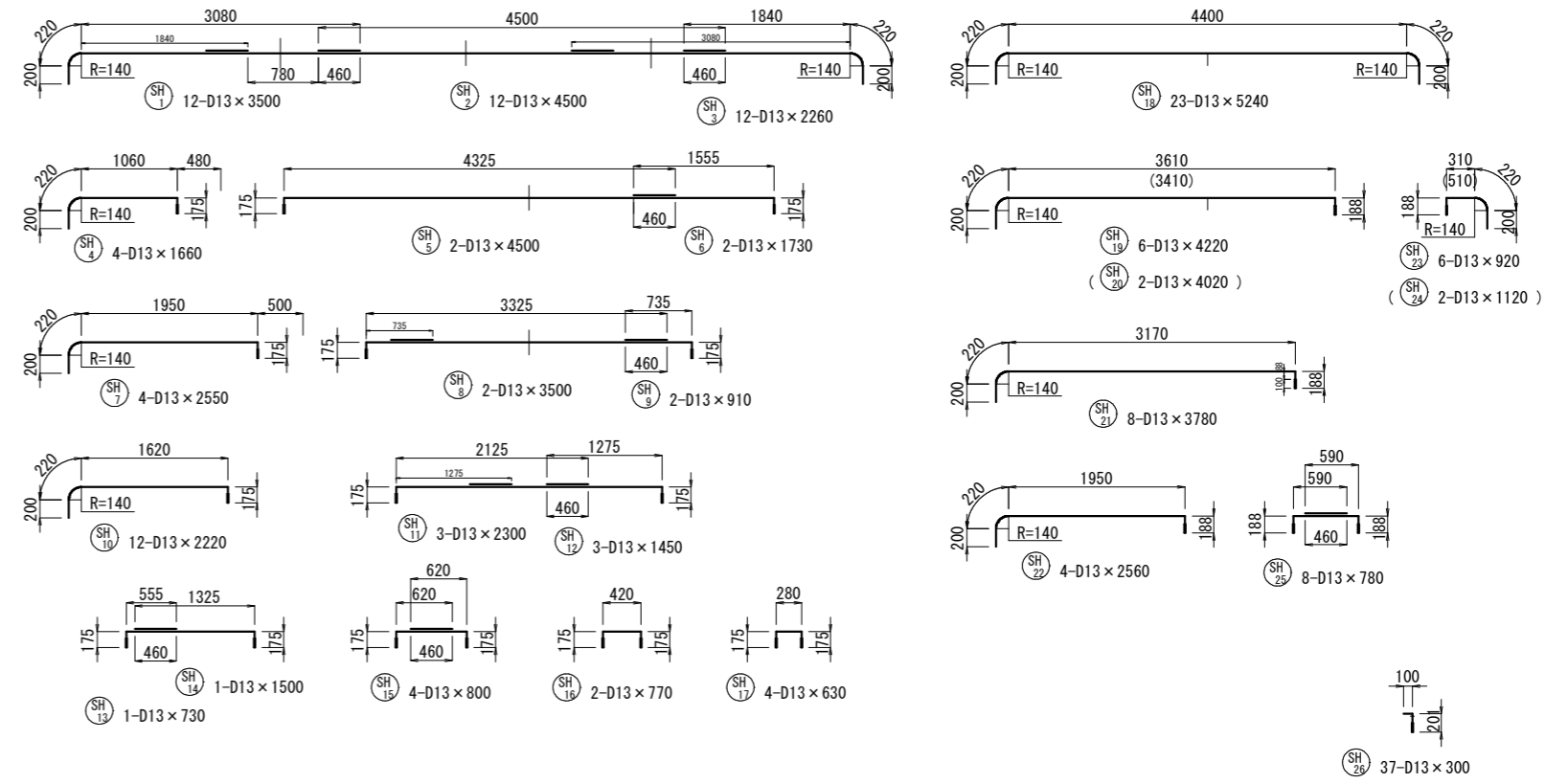
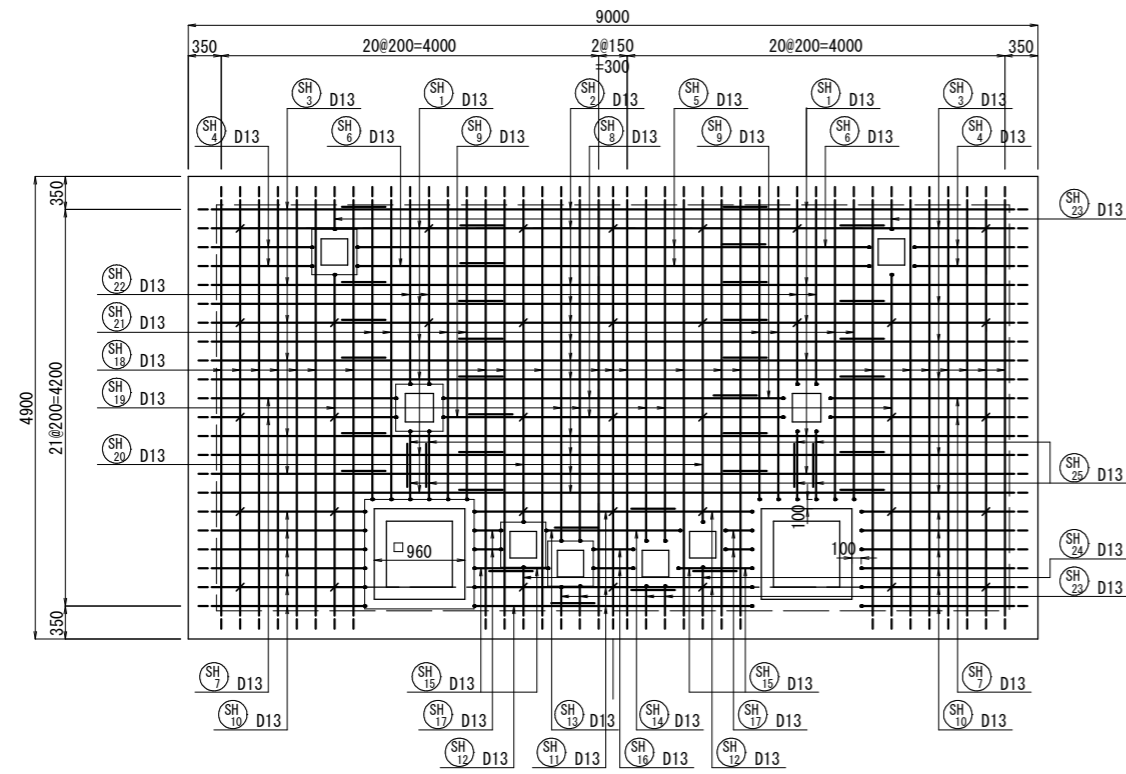
令和8年度	図番	10葉6
工事名	令和8年度(債務負担行為) 水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	配水池補強配筋図(1)	
縮尺	1:40	庄内広域水道企業団

側壁補強展開図



令和8年度	図番	10葉7
工事名	令和8年度(債務負担行為)水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	配水池補強配筋図(2)	
縮尺	1:40	庄内広域水道企業団

頂版補強展開図



鉄筋重量表

符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	本当り重量(kg)	重量(kg)	摘要
FH 1	D13	3000	18	0.995	2.985	53.7	
FH 2	D13	1260	26	0.995	1.254	32.6	
FH 3	D13	2300	6	0.995	2.289	13.7	
FH 4	D13	2250	8	0.995	2.239	17.9	
FH 5	D13	1310	4	0.995	1.303	5.2	
FH 6	D13	1360	2	0.995	1.353	2.7	
FH 7	D13	1890	4	0.995	1.881	7.5	
FH 8	D13	900	4	0.995	0.896	3.6	
FH 9	D13	400	8	0.995	0.398	3.2	
FH 10	D13	370	8	0.995	0.368	2.9	
FH 11	D13	3000	20	0.995	2.985	59.7	
FH 12	D13	1290	26	0.995	1.284	33.4	
FH 13	D13	2300	6	0.995	2.289	13.7	
FH 14	D13	2250	8	0.995	2.239	17.9	
FH 15	D13	1340	4	0.995	1.333	5.3	
FH 16	D13	1390	2	0.995	1.383	2.8	
FH 17	D13	2290	2	0.995	2.279	4.6	
FH 18	D13	1330	4	0.995	1.323	5.3	
FH 19	D13	320	30	0.995	0.318	9.5	
WH 1	D13	2000	56	0.995	1.990	111.4	
WH 2	D13	3000	57	0.995	2.985	170.1	
WH 3	D13	2300	4	0.995	2.289	9.2	
WH 4	D13	3300	7	0.995	3.284	23.0	
WH 5	D13	2110	2	0.995	2.099	4.2	
WH 6	D13	2050	2	0.995	2.040	4.1	
WH 7	D13	1600	2	0.995	1.592	3.2	

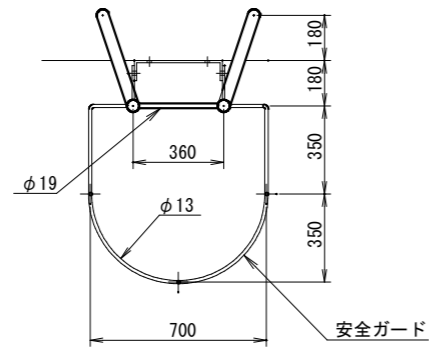
符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	本当り重量(kg)	重量(kg)	摘要
WH 8	D13	2520	66	0.995	2.507	165.5	
WH 9	D13	1520	64	0.995	1.512	96.8	
WH 10	D13	5790	34	0.995	5.761	195.9	
WH 11	D13	6500	33	0.995	6.468	213.4	
WH 12	D13	2740	33	0.995	2.726	90.0	
WH 13	D13	1350	2	0.995	1.343	2.7	
WH 14	D13	5700	1	0.995	5.672	5.7	
WH 15	D13	1050	2	0.995	1.045	2.1	
WH 16	D13	650	1	0.995	0.647	0.6	
WH 17	D13	3250	1	0.995	3.234	3.2	
WH 18	D13	360	114	0.995	0.358	40.8	(平均長)
SH 1	D13	3500	12	0.995	3.483	41.8	
SH 2	D13	4500	12	0.995	4.478	53.7	
SH 3	D13	2260	12	0.995	2.249	27.0	
SH 4	D13	1660	4	0.995	1.652	6.6	
SH 5	D13	4500	2	0.995	4.478	9.0	
SH 6	D13	1730	2	0.995	1.721	3.4	
SH 7	D13	2550	4	0.995	2.537	10.1	
SH 8	D13	3500	2	0.995	3.483	7.0	
SH 9	D13	910	2	0.995	0.905	1.8	
SH 10	D13	2220	12	0.995	2.209	26.5	
SH 11	D13	2300	3	0.995	2.289	6.9	
SH 12	D13	1450	3	0.995	1.443	4.3	
SH 13	D13	730	1	0.995	0.726	0.7	
SH 14	D13	1500	1	0.995	1.493	1.5	
SH 15	D13	800	4	0.995	0.796	3.2	

符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	本当り重量(kg)	重量(kg)	摘要
SH 16	D13	770	2	0.995	0.766	1.5	
SH 17	D13	630	4	0.995	0.627	2.5	
SH 18	D13	5240	23	0.995	5.214	119.9	
SH 19	D13	4220	6	0.995	4.199	25.2	
SH 20	D13	4020	2	0.995	4.000	8.0	
SH 21	D13	3780	8	0.995	3.761	30.1	
SH 22	D13	2560	4	0.995	2.547	10.2	
SH 23	D13	920	6	0.995	0.915	5.5	
SH 24	D13	1120	2	0.995	1.114	2.2	
SH 25	D13	780	8	0.995	0.776	6.2	
SH 26	D13	300	37	0.995	0.299	11.1	
鉄筋総重量 D13 1863.0 kg							
機械継手 III型 8ヶ所							

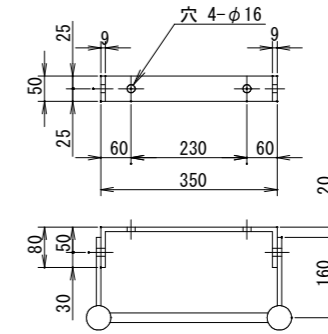
令和8年度	図番	10葉8
工事名	令和8年度(債務負担行為)水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	配水池補強配筋図(3)	
縮尺	1:40	庄内広域水道企業団

配水池はしご詳細図
(ステンレス製 SUS304)

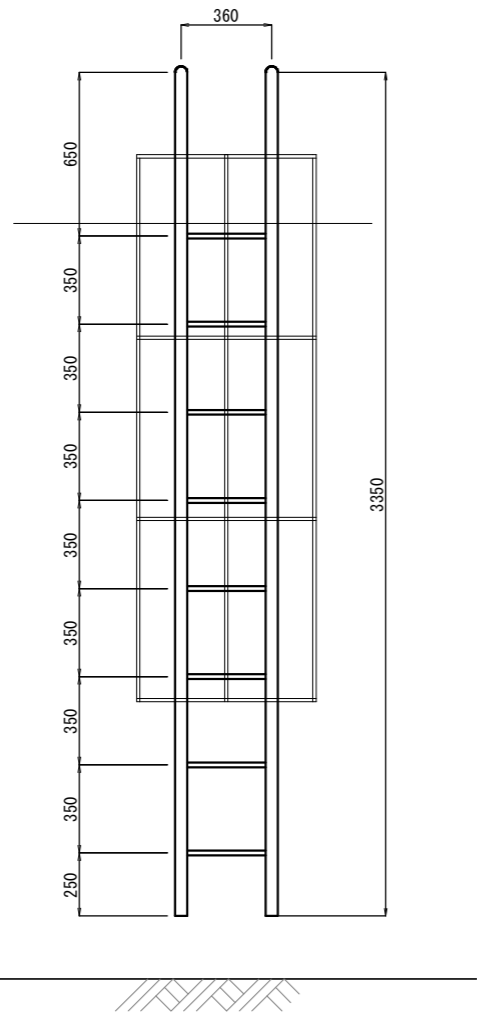
平面図
S=1:15



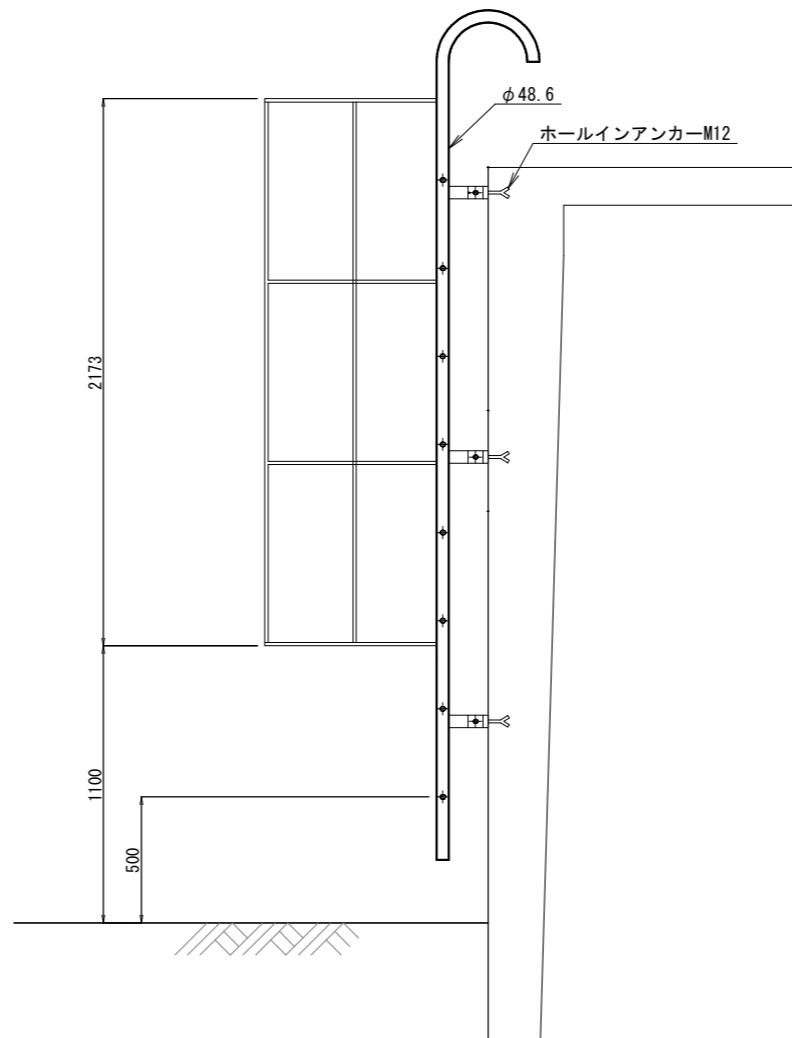
取付金具
S=1:30



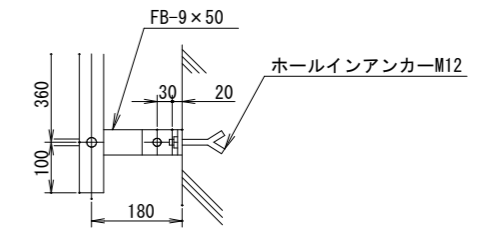
正面図
S=1:15



側面図



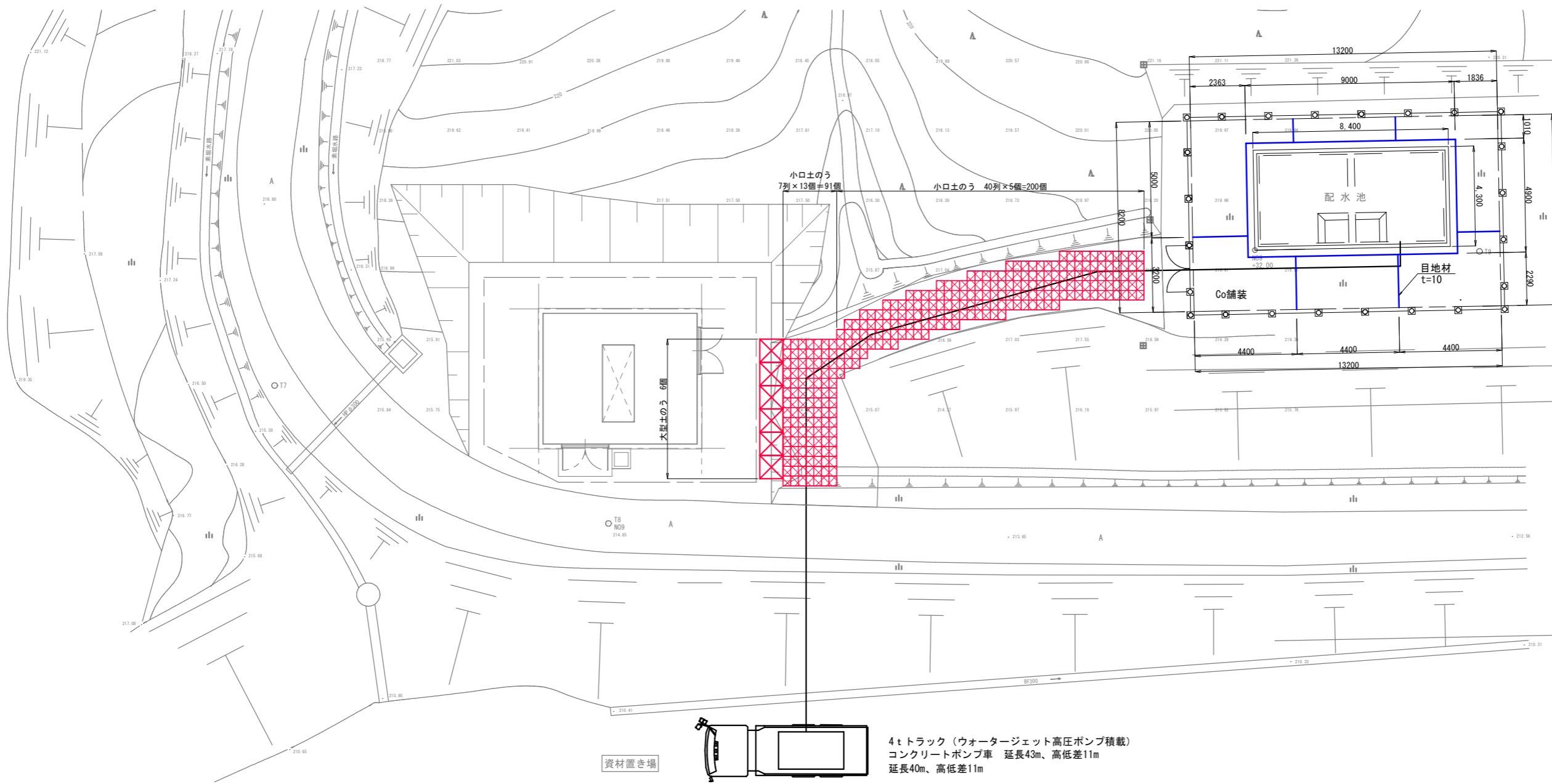
アンカー詳細図
S=1:30



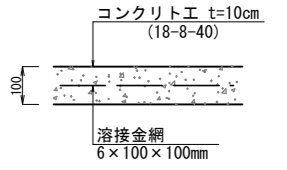
令和8年度	図番	10葉9
工事名	令和8年度(債務負担行為) 水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	配水池はしご詳細図	
縮尺	図示	庄内広域水道企業団

仮設詳細図 S=1:100

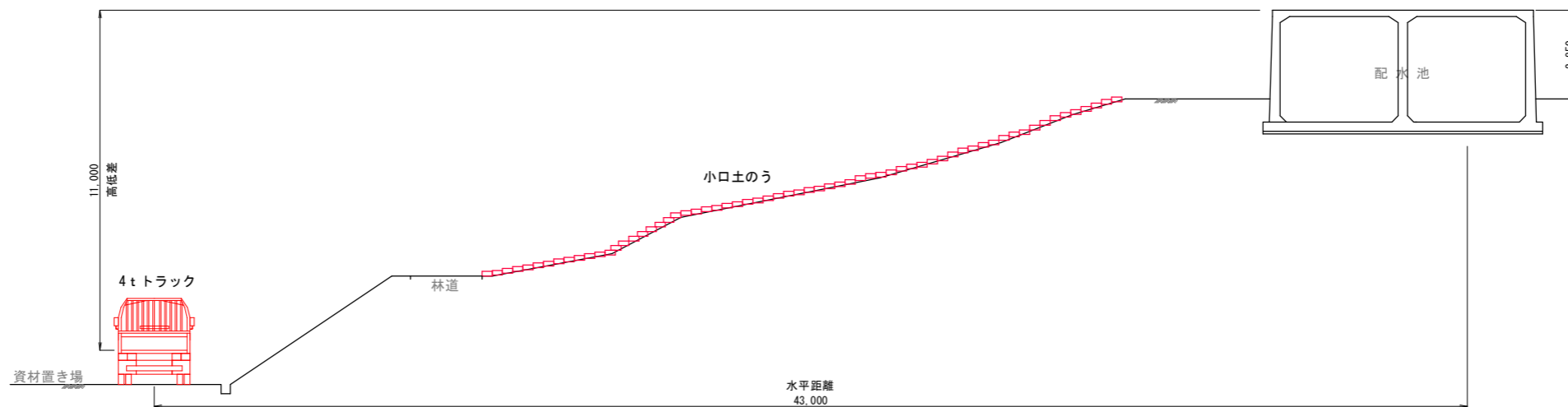
仮設平面図



コンクリート舗装



仮設断面図



令和8年度	図番	10葉10
工事名	令和8年度(債務負担行為) 水道総合地震対策事業 温海川配水池耐震補強工事	
位置	鶴岡市温海川 地内	
図名	仮設詳細図	
縮尺	1:100	庄内広域水道企業団

令和8年度（債務負担行為）水道総合
地震対策事業温海川配水池耐震補強工事

特 記 仕 様 書

庄内広域水道企業団

1. 土 木 工 事

1. 仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「日本水道協会制定水道工事標準仕様書-土木工事編-（最新版）」、及び「山形県県土整備部制定共通仕様書（最新版）」に基づき実施しなければならない。
なお、工事期間中において、仕様書の一部改訂がなされた場合は改訂内容についても適用するものとする。

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第 1 編 共 通 編

第 1 章 総 則

1 - 1. 工事種別

工事種別は土木一式工事とする。

※経費の積算にあたっては、水道事業実務必携の構造物工事（浄水場等）を基に積算をしています。

1 - 2. 監理技術者の専任義務の緩和に係る取り扱い

1. 本工事において、建設業法第 26 条 3 項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、「庄内広域水道企業団発注工事における監理技術者及び監理技術者を補佐する者の取扱いについて」によるものとする。
2. 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。

1 - 3. 提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第 3 条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

なお、下請計画（変更）報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1 - 4. 施工計画

事前に現地調査等を行い、設計図書と差異があった場合は工事打合簿に計画図（平面図・断面図・詳細図等）を添付し、監督職員に提出し承諾を得ること。施工中に疑義が生じた場合はすみやかに監督職員に連絡し指示をあおぐこと。

1 - 5. 排出ガス対策型の建設機械

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械の使用が出来ない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。

対策型を使用しない場合は変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

1-6. 揚重作業機械

揚重作業機械については、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。

やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

~~1-7. 沿線住民への周知~~

~~工事着工前に施工箇所を示した住宅地図を添付した「工事のお知らせ」を作成し、監督職員の承諾を得てから地元の町内会長、沿線住民等の関係各所に配布すること。~~

~~また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関（幼稚園、保育園等）に通知すること。~~

~~1-8. 地下埋設物~~

~~すべての埋設物（下水道、電力、NTT、ガス及び情報管路等その他必要と思われる埋設物）について管理者に埋設状況の確認を行い、必要に応じて管理者との立会いを実施し、確認書の写しを監督職員に提出すること。~~

~~なお、NTTに関しては必ず管理者の立会いを求めること。~~

~~また、試掘が必要な場合は事前に監督職員と協議しなければならない。~~

1-9. 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材）は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれの条件を満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシュラン（RC-40）として再資源化している再資源化施設

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出先は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、マニフェスト（E票）の写しを提出すること。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設(株)	8:00~17:00
○	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業(株)	8:00~17:00
	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00~17:00
	鶴岡市馬町宮ノ腰 115	(株)三浦土建	8:00~17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコ共同企業体	8:00~17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	(株)青木建材	8:00~17:00

3. 受注者は、自らの都合により前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第 1 篇共通編 1-1-12 建設副産物第 2 項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。

なお、この場合において搬出予定の再資源化施設が第 1 項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。

また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。

4. 受注者は、建設リサイクル法第 18 条第 1 項の規定により、特定建設資材（コンクリート、アスファルト、木材）廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設副産物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。

5. 受注者は、工事完了時に「再生資源利用計画書（実施書）」及び、「再生資源利用促進計画書（実施書）」の内容について、監督職員が別途指定する様式、データで提出すること。また、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

6. 受注者は、再生資源利用計画書及び、再生資源利用促進計画書の内容について『建設副産物情報交換システム-COBRIS-』（（財）日本建設情報総合センターWeb 版入力システム）に登録する場合は事前に監督職員と協議すること。

7. 建設資材廃棄物の搬出時には、過積載を防止し、運搬車輛に「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」により、産業廃棄物運搬の表示及び書面を備え付けること。

1 - 10. 工事名表示板に関する事項（安全確保関係）

工事名表示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。

なお、工事名看板記載の「工事期間」は現場施工期間とする。

また、発注者は「庄内広域水道企業団」とする。

工事の種類	(例) 水道工事
工事内容の説明	(例) 配水池の耐震補強のための工事を行っています。

1 - 11. 残土受入地

本工事により発生する建設発生土は田川砂利工業株式会社（勝福寺ストックヤード 住所：勝福寺前川原 125）とする。

設計計上した運搬距離と差異が生じた場合や処分費等が発生した場合は、変更協議の対象とする。

1 - 12. 交通安全に関する事項

現場状況を精査し必要に応じて、歩行者、自転車及び車輛等通行の際の安全確保のために交通誘導員を配置させ、安全管理に十分配慮した施工計画を策定すること。

また、通行制限がある場合は沿線住民に対しビラを配布する等十分周知し、協力を得るよう努力すること。

なお、詳細については監督職員と協議しなければならない。

1 - 13. 事業損失に関する事項

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。
2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要となった場合は、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。

1 - 14. 施工時期、時間、施工方法の制限事項

本工事の作業時間帯は 8:30～17:00 とする。

なお、作業時間には準備、後片付け及び重機の移動時間も含むものとする。

また、作業時間帯に変更が生じる場合は、速やかに監督職員と協議しなければならない。

1 - 15. 災害時の協力体制

1. 緊急巡回

- I 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。
- II 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。
- III 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
- IV 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1 - 16. 事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第 1 報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書（山形県、参考様式 5）を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に係る「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わずすべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。
山形県のホームページ→組織別ページ→県土整備部→建設企画課→建設工事技術関連情報→土木工事共通仕様書について

~~1 - 17. 配管技能者等の配置について~~

- ~~1. 配水管技能者（一般継手または耐震継手登録）を配置すること。~~

~~2. 職業能力開発促進法第44条に規定する配管技能士及び同法24条に規定する都道府県知事の認定を受けた職業訓練校の配管科の課程の修了者、公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程を修了した者等、当市で定める技能を有するものを配置すること。~~

1-18. 週休2日確保工事

1. 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては「山形県県土整備部週休2日確保工事实施要領」に基づくため、詳細については、別添実施要領を確認すること。なお、実施要領中の「山形県県土整備部及び各総合支庁建設部」を「庄内広域水道企業団」に読み替えるものとする。
2. 発注者は、当初（発注）時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所状況が異なる場合は変更（精算）時に補正係数を変更するものとする。
3. 受注者は、工事名標示板に月単位の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。

1-19. その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、速やかに監督員に連絡し指示を仰ぐこと。
了解を得ずに増工（増額）したものについては変更の対象としない。
2. 建設業退職金共済組合に加入している場合は、「建設業退職金共済組合証紙購入報告」を提出すること。その他の退職金共済に加盟している場合は、加盟している退職金共済を確認できる書類を提出すること。
なお、当該工事期間中に建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況について確認できる書類を提出すること。

第2編 材 料 編

第1章 土木工事材料

~~1-1. 再生資材の使用~~

~~工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。~~

材料名	規格	使用箇所	摘要

- ~~1. 再生クラッシュランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破砕、選別、混合物除去、粒度調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料（新材の碎石又はズリ等）が混合されていない状態のものをいう。~~
- ~~2. 路盤材に使用する再生碎石（RC-40）は下記の品質基準を満足するものとする。~~
 - ~~・下層路盤材 修正 CBR 値 40%以上~~

1-2. 購入土

購入土は、CBR12%以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

1-3. 生コンクリート

工事に使用する生コンクリートは、高炉セメント（B種）を標準とする。

1-4. 建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

資材名	規格	調達地域等
土砂	丘砂（砂丘砂）	庄内

第2章 一般事項

2-1. 使用資材

JWWA 製品及び当部で承認した資材を使用することとするが、これによらない場合は監督職員の承諾を得てから使用すること。

2-2. 資材の発注

資材の発注については、現地調査等を必ず行い、必要資材を確認したうえで行うこと。なお、不要資材が発生した際の返却に係る手数料等については原則受注者負担とする。

2-3. 工事材料の確認

市が一括承認済みの骨材等については、承認資料等の提出を省略できる。なお、使用材料は、納入された時に必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は返却等の処置を施すこと。確認時に不良品を発見した場合、手直し指示する場合がある。

2-4. 資材の保管

使用資材は平坦な場所に敷いた緩衝材の上に保管することとし、直射日光や雨等を避けるためにシート等で覆い品質を確保すること。また、強風等で飛散することのないよう処置を施すこと。

2-5. 発生資材の管理

工事で発生した切管等の資材や仮設資材については工事完了後、速やかに監督職員に数量を書面により報告し、指定の場所へ運搬すること。

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

1-1. 段階確認

共通仕様書第3篇土木工事共通編 1-1-2 監督職員による確認及び立会等により指定された工種に次の工種を追加するものとする。

種別	細別	確認時期
耐震補強工	頂版高さ確認	コンクリート表面処理後
耐震補強工	削孔長確認	削孔完了後
耐震補強工	配筋検査	鉄筋組立て完了後
耐震補強工	引張試験	鉄筋組立て完了後
耐震補強工	コンクリート圧縮強度試験	材齢7日、28日
耐震補強工	コンクリート厚確認	コンクリート打設完了後
内面防食塗装工	コンクリート表面処理	ウォータージェット 表面処理完了後
内面防食塗装工	引張強度確認	防食塗装完了後
内面防食塗装工	塗布厚確認	防食塗装完了後
空袋・空缶確認	塗装材、内面防食材	作業完了後

第2章 一般施工

~~2-1. 掘削土量の精算について~~

- ~~1. 前日までに掘削した箇所から当日掘削する場合に前日布設のために掘削した箇所から接続するための掘削分は計上しない事。~~

~~2. 試験掘削について~~

~~試験掘削については、現場状況等により必要と判断し、監督職員の承諾を得た場合は計上する事。~~

2-2. 埋戻し時の転圧等について

1. 埋戻し材（砂）は20cm毎に十分ランマー等で転圧し、管理すること。

~~2-3. 交通整理員の計上について~~

- ~~1. 交通整理員の計上については、日当たり標準施工延長を基準とし、現場ごとの条件を考慮して積算設計していることから、施工上大幅な変更が生じた場合以外は変更を行わない。なお、交通整理員の日当たりの稼働時間は8時間（休憩時間含まず。）とし、稼働日数等が確認出来る書類を工事完成までに提出すること。~~

第4編 コンクリート工事編

第1章 一般施工

1-1. 適用

土木工事共通仕様書及びコンクリート標準仕様書を適用するものとする。

1-2. 型枠工事

1. 型枠材料は原則として鋼製とする。なお、合板を使用する場合は『コンクリート型枠用合板農林規格』の1種とする。
2. 側壁等立上り部のセパレータは、防水ゴム付とする。
3. 型枠緊張材は、ボルト式とする。

1-3. 鉄筋工事

1. 使用材料
鉄筋は、JIS G 3112 に規定されている SD295A 及び SD345 を使用すること。
2. 被り厚及び配筋方法（補強筋含む）
図面に明記なき場合は、土木工事共通仕様書及びコンクリート標準仕様書に準ずること。
3. スペーサー
使用するスペーサーは、原則として鉄製（一部ポリ紛体被覆品）とし、モルタルスペーサーを使用する場合は設計強度以上の材質として監督職員の承認を得ること。

1-4. コンクリート工事

1. コンクリートは、原則としてレディーミクストコンクリート（JIS A 5308）を使用するものとしその使用は図面に明記しているものとする。

2. 試験

配合については試験練りを行い、監督職員の承認を受けてこれを定めるものとする。

圧縮強度試験の供試体は、打設工程1回につき下記の採取本数とする。

- ・工事現場の荷卸場所 1週養生～3本、4週養生～3本

3. 打設方法

コンクリートは棒状バイブレーターを使用して十分締固め、表面は少し乾いたときにタンピング仕上とする。側壁等の立ち上がりコンクリートは水平打ちとし、棒状バイブレーターを使用して、鉄筋・型枠の隅々までコンクリートが行き渡るように十分締固め、表面は少し乾いたときにタンピング仕上とする。コンクリート打設工程ごとの打継目の処理は、コンクリート打設から3～5時間後、ワイヤーブラシ等でレイタンスを除去するものとし、その厚さは粗骨材の表面が表れるまでとする。コンクリートの塩化物測定は打設回数ごとに行い、その記録をまとめておくこと。

第5編 明示事項

第1章 施工及び管理

~~1-1. 管の布設及び接合~~

~~1. ダクタイル鋳鉄管の施工は、日本ダクタイル鋳鉄管協会発刊の接合要領によること。~~

~~2. 水道配水用ポリエチレン管の施工は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会発刊の施工マニュアルによること。~~

~~3. 接合はすべての箇所においてチェックシートを用いて管理を行うこと。~~

~~1-2. チェックシートの提出~~

~~チェックシートについてはすべての接合箇所（給水管用ポリエチレン管耐震継手含む。）を提出すること。【接合状況写真との整合性がとれるようにすること。】~~

~~1-3. 写真撮影及び提出~~

~~施工状況写真は原則20mに1箇所、接合状況は全箇所の撮影とし、紙及び電子媒体にて提出すること。完成写真は施工前後で施工箇所がわかるようにすること。~~

~~なお、提出部数については監督職員の指示する部数とすること。~~

~~1-4. 切管管理~~

~~切管調書による残管延長の管理を行い、資材の無駄が生じないようにすること。~~

~~1-5. 管の切断~~

~~1. ダクタイル鋳鉄管の切断は、ダイヤモンドブレード若しくはキールカッターを使用し切断すること。~~

~~2. 配水用ポリエチレン管の切断は、所定のパイプカッターを使用し切断すること。~~

1-6. 埋設シート及びテープ

- ~~1. 管明示シートは下層路盤と埋め戻し砂の境界に埋設すること。~~
- ~~2. 管明示テープの施工は、以下のとおりとする。~~

~~I ダクタイル鋳鉄管はポリエチレンスリーブの固定材として使用すること。~~

~~II 配水用ポリエチレン管、硬質塩化ビニル管は管上に貼付し、管長5mにつき、4箇所胴巻き貼付すること。~~

1-7. 断水に関する事項

- ~~1. 断水計画は、現場状況及び沿線給水者等の水利用状況を勘察したうえで作成し、断水日5日前までに監督職員の承諾を得ること。また、断水該当宅へは断水日3日前までに「断水のお知らせ」を配布すること。~~
- ~~2. 断水作業は計画的かつ効率的に行い、断水時間の短縮に努めること。~~
- ~~3. 断水時間には洗管作業時間を含むものとする。~~

1-8. 竣工図書

1. 工事竣工図作成要領について

I 記載内容は平面図及び配管詳細図とする。

~~II 平面図には配管図を記入し、直管布設部においては官民境界からの離れ及び埋設深を、曲管等の異形管布設部についてはオフセットを表示すること。~~

~~また、給水管工事を伴った場合は、止水栓または逆止弁付止水栓までを表記し、併せて水栓番号も記入すること。当該施工箇所は赤色にて表示すること。~~

~~なお、縮尺は1/500または1/1,000とし、図面上に表示すること。~~

~~III 配管詳細図には工事設計図面同様の配管記号により平面的に記入するものとし、各種異形管等についてはト書きにて口径、種別を表記すること。また、切管には寸法をメートル単位（小数点第1位まで）で明示すること。なお、平面的な表記では理解しがたい場合は側面図で補うこと。~~

~~IV 消火栓設置時はメーカー、サイズ、副弁、消火栓バルブ及び丙管の有無を配管詳細図に記載すること。~~

~~V 空気弁設置時はメーカー、補修弁の有無、取り出し口径を配管詳細図に記載すること。~~

~~VI 本工事施工に際して確認できた他埋設管（ガス、下水道等）があった場合は、その埋設位置を平面図に記載すること。~~

2. 仕切弁オフセット図について

設置仕切弁及び管を接続した仕切弁のオフセットを監督職員の指定する様式にて作成すること。

~~3. 給水台帳及び給水管分岐替一覧表について~~

~~給水管工事を行った場合は給水台帳の修正を行い、給水管分岐替一覧表を作成すること。~~

4. 竣工図書の提出について

I 工事竣工図、仕切弁オフセットの提出は紙媒体と電子媒体によるものとし、提出方法は次のとおりとする。

- ・紙媒体・・・監督職員の指定する部数。

・電子媒体・・・1式（拡張子は dxf、sfc、、jww、PDF のいずれかとする。）

~~II 給水台帳及び給水管分岐替一覧表については紙媒体により1部提出すること。~~

第2章 その他

2-1. 環境整備

路面及び側溝等に土砂や作業排水を排出した場合は、作業終了後に清掃を行うこと。

~~2-2. 家屋調査等について~~

~~工事箇所周辺において工事施工により破損の恐れがある家屋、ブロック塀及び石積等がある場合は、工事施工前に当該物件所有者立会いの下に家屋調査を行い現況の確認を行い、工事完成後には所有者より異常の有無を確認していただくこと。~~

~~なお、現況確認、異常の有無確認ともに、確認状況がわかる写真を添付した調査調書を作成し、所有者からの署名、押印をいただいたうえで提出すること。~~

~~また、異常があった場合は速やかに監督職員へ報告し、対応を協議すること。~~

2. 防 水 工 事

1.仕様書の適用

本工事の施工にあたっては下記の規格を適用すること。

日本工業規格（J I S）

日本水道協会規格（J W W A）

なお、上記規格基準に制定なきものは監督員と協議すること。

第 1 編 施 工 編

第 1 章 工 事 材 料

1-1. 塗膜防水工の材質について

塗膜防水の材質、塗厚、層数及び仕上げ色について、定めのない場合は監督員と協議する。

第 1 章 施 工

2-1. 既設塗膜の除去について

既存塗膜及び改修に伴う塗膜付着に支障をきたすコンクリート表面のレイトンス・脆弱層・突起物・その他異物等については、高圧水洗浄（100～150MPa）および目荒らし等により処理を行い、堅牢なコンクリート表面を露出するものとする。

2-2. 下地調整について

コンクリート表面に生じた凸凹等は、使用塗料との付着性に支障をきたさない適切な下地調整材を用いて処理し、平滑な塗装下地に仕上げるものとする。

2-3. 頂版塗膜防水工法について

頂版塗膜防水は一般室内外用軽歩行用ノンスリップ仕上げ仕様とすること。プライマーを塗布したのち、防水層 2 層、保護仕上げとしてのカラーコート（軽歩行用着色保護材）2 層の計 5 層とすること。

2-4. 水槽内防食塗装について

水槽内防食塗装はエポキシ樹脂塗料（JWWA K-143：2017 適合品）を使用すること。下地処理をすること。樹脂及び下地調整材の試験結果成績書の提出をすること。

2-5. 外壁塗膜防水工法について

外壁塗膜防水は水性外壁防水工法としトップコートはアクリル系仕様とする。下地はポリマーセメント系下地調整材を使用したのち、防水層 2 層、水性反応硬化型アクリル樹脂のトップコートを 2 層の計 5 層とすること。

2-6. 施工方法について

施工方法は各防水工法の施工要領に準ずること。

3. その他

1-1. 工事工程について

安全・安心な水道水を守ることから、耐震補強工事中の事故を想定して配水場の機能を確実に1池確保するため、耐震補強工事について同時に2池の工事を施工しないこと。以下に記載の工事項目について、1年目は令和8年12月15日までに完了し、2年目は令和9年4月から着手すること。

工事項目

1年目(補助対象)

1. パラペット撤去工
2. 1号配水池内部底盤増し厚コンクリート工
3. 1号配水池内部底盤内防食塗装工

1年目(補助対象外)

1. 1号配水池内部側壁・頂版補修コンクリート工
2. 1号配水池内部側壁・頂版内防食塗装工

2年目(補助対象)

1. 2号配水池内部底盤増し厚コンクリート工
2. 2号配水池内部底盤内防食塗装工
3. 配水池外壁増し厚コンクリート工

2年目(補助対象外)

1. 2号配水池内部側壁・頂版補修コンクリート工
2. 2号配水池内部側壁・頂版内防食塗装工
3. 配水池側壁防水頂版塗装工
4. 付帯設備設置工

2-1. 前金払・中間前金払・部分払について

本工事は債務負担行為に係る契約となり、前金払、中間前金払及び部分払についての適用は以下のとおりとする。

1.前金払・中間前金払

前金払については、庄内広域水道企業団建設工事請負契約約款第36条第1項及び第2項による。また、中間前金払については、庄内広域水道企業団建設工事請負契約約款第36条第3項及び第4項によるものとし、適用は【別表】のとおりとする。

2.部分払

庄内広域水道企業団建設工事請負契約約款第39条及び第43条によるものとし、適用は【別表】のとおりとする。

【別表】

支 払 区 分 表				
区分	前金払	中間前金払	部分払	摘 要
令和8年度	あり	なし	あり	支払限度額14,333,000円
令和9年度	あり	あり	なし	